

E-Post Mail Server ver.5.x
Web 用管理ツール マニュアル

(第1.01A版)

はじめに

「E-Post Mail Server Web 用管理ツール」は、WEB から管理する為の CGI 及び HTML サンプルから構成される管理用ツールです。

Web 用管理ツールは、**デフォルトインストールの場合、**

FreeBSD の場合

管理用 CGI....."/usr/local/www/apache24/cgi-bin "

管理用 HTML....."/usr/local/www/apache24/data/epms"

にインストールされています。

既存の HTTP サービスを用意し本ツールを組み込みますと、Web 上からインストールされている「E-Post Mail Server」シリーズの以下の操作が可能になります。

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 1. 環境設定 | メールサーバーの運用環境設定を行います。 |
| 2. サービス制御 | 各サービスのサービス起動・停止制御を行います。 |
| 3. ライセンス情報 | 製品ライセンスに状態とライセンス登録を行います。 |
| 4. ドメイン管理 | 管理するドメインの参照・登録・削除を行います。 |
| 5. ユーザー管理 | 実ユーザーの参照・登録・削除を行います。 |
| 6. エイリアス管理 | エイリアスの参照・登録・削除を行います。 |
| 7. メーリングリスト管理 | メーリングリストの参照・登録・削除を行います。 |

※ご使用前に

実際に使用するには、HTML の CGI 記述部分を実際に使用する環境に合わせて、HTML の保存フォルダをフルパスにて書き直して下さい。

※ご注意

本プログラムは E-Post Mail Server と一緒に利用することを目的としております。

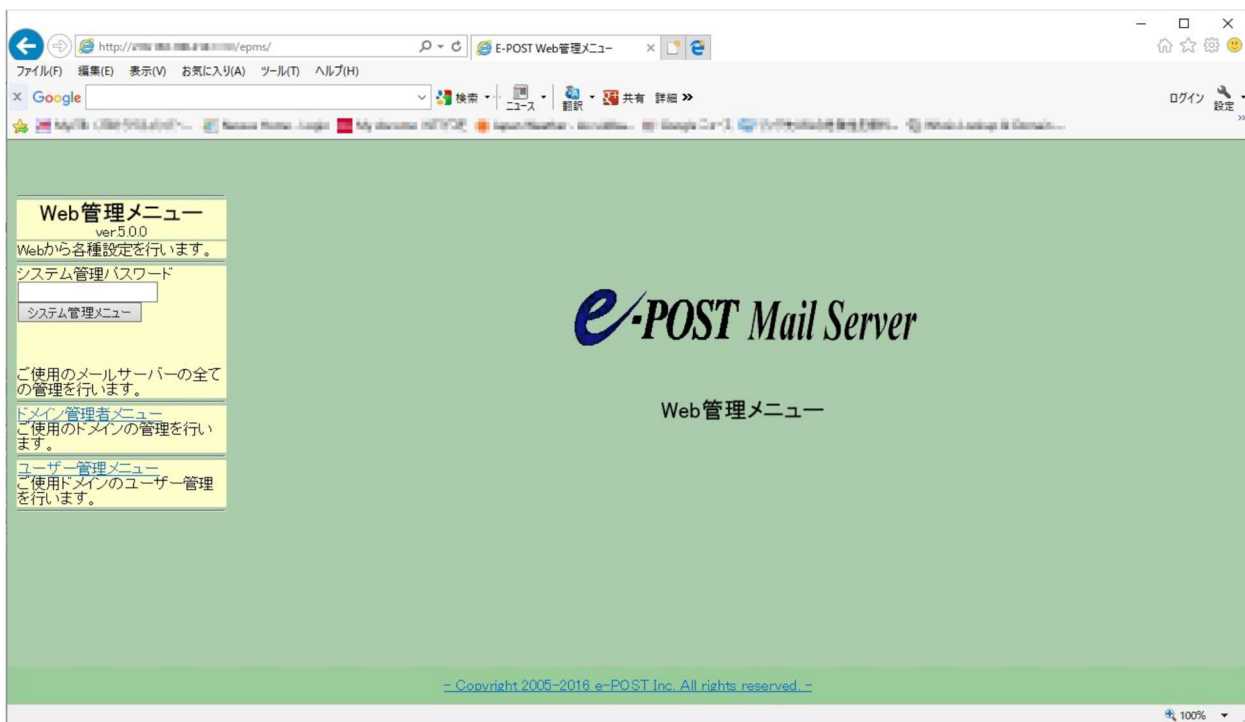
E-Post Mail Server の解除キーを入れず30日間を過ぎると本 CGI も使用できなくなりますのでご注意下さい。

本マニュアルは、E-Post Mail Server EnterpriseII の Web 管理 HTML を参考に作成されているため、ご使用のシリーズに含まれない項目がある場合があります。

本マニュアルの内容の一部または全部を無断掲載することをお断りします。

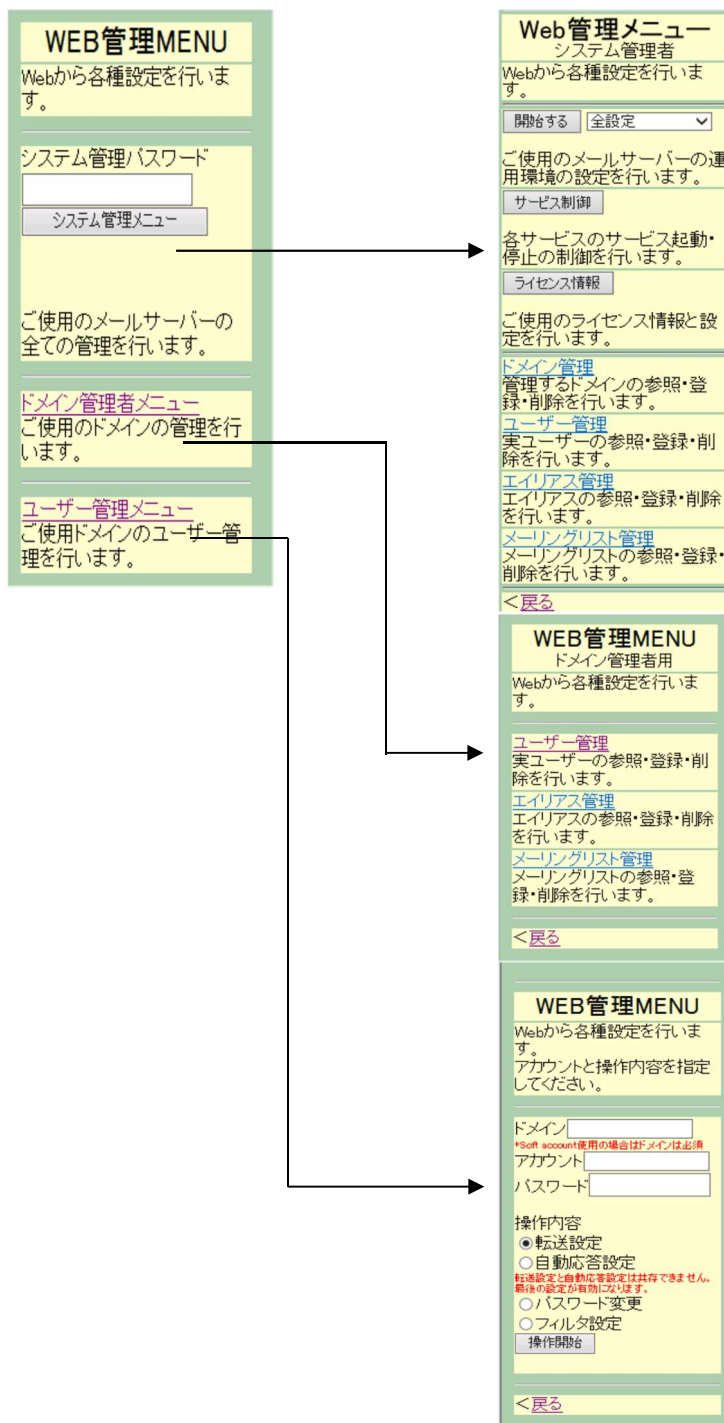
本マニュアルの内容については、機能向上のため、予告なく変更することがあります。

ブラウザより、<http://localhost/epms/index.html> へ接続し、操作画面が表示されることを確認します。



Web管理メニューの構成

Web管理メニューには、「システム管理者用メニュー」、「ドメイン管理者用メニュー」、「利用者用メニュー」の3つのメニューから構成されています。



システム管理者用メニュー

本メニューは、「E-POST Mail Server」シリーズの環境設定、サービスの停止や起動、ドメインの作成変更削除、ユーザアカウント、エイリアスアカウント、メーリングリストアカウントの作成変更削除等を行うための操作メニューです。

ドメイン管理者用メニュー

本メニューは、「E-POST Mail Server」シリーズで作成されたドメイン内のユーザアカウント、エイリアスアカウント、メーリングリストアカウントの作成変更削除等を行うための操作メニューです。

利用者用メニュー

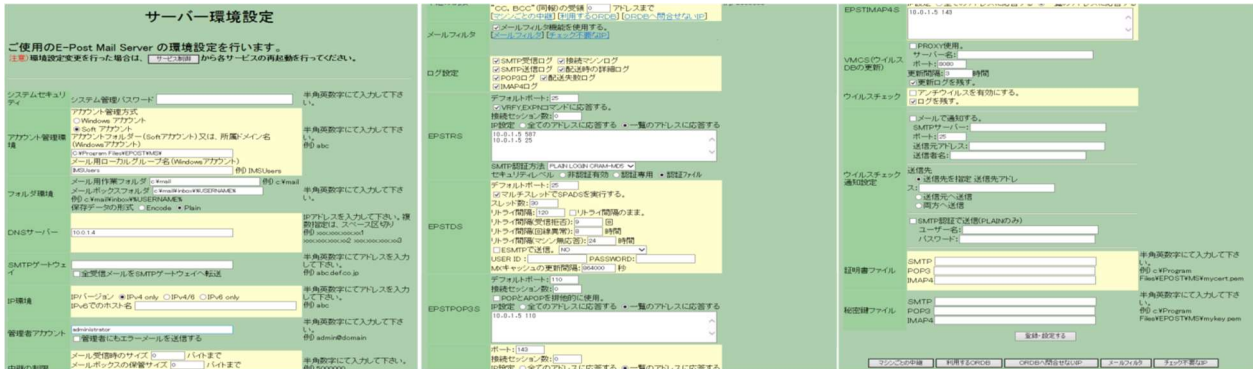
本メニューは、「E-POST Mail Server」シリーズで作成されたユーザ毎に、転送、自動応答、パスワード、メールフィルタの設定を行うための操作メニューです。

システム管理者用メニュー

左側にある「Web管理メニュー」から「システム管理メニュー」ボタンをクリックします。

既に「システム管理パスワード」が設定されている場合は、パスワードを入力し「システム管理メニュー」ボタンをクリックすると、左側メニューにシステム管理者用メニューが表示されます。

環境設定



<p>システムセキュリティ</p>	<p>システム管理パスワード</p>	<p>システム管理パスワード 設定ダイアログがパスワードの入力をしないと次の起動から立ち上がらないようにする場合設定します。 例えば、本ソフトウェアをインストールしたマシンに複数の人が管理者アカウントなどでログインする場合など、不用意にメールサーバー管理者以外に基本設定を変更させたく無い場合に利用します。</p>
<p>アカウント管理環境</p>	<p>アカウント管理方式 <input checked="" type="radio"/> OS アカウント <input type="radio"/> Soft アカウント <input type="radio"/> LDAP アカウント アカウントフォルダ (Soft アカウント) 又は、所属ドメイン名 (OS/LDAP アカウント) /var/spool/epms/db/ メール用ローカルグループ名 (OS/LDAP アカウント) IMSUsers eg. IMSUsers</p>	<p>アカウント管理方式 利用するアカウント情報の種類を指定します。</p>
<p>フォルダ環境</p>	<p>メール用作業フォルダ c:\mail 例) c:\mail メールボックスフォルダ c:\mail\inbox\%USERNAME% 例) c:\mail\inbox\%USERNAME% 保存データの形式、 <input type="radio"/> Encode <input checked="" type="radio"/> Plain</p>	<p>メール用作業フォルダ メール送受信の為の作業フォルダを指定します。 メールボックスフォルダ 各ユーザー毎に貯えられるメールの保存フォルダを指定します。 保存データの形式 メールボックスに保管するメールデータの形式を指定します。</p>
<p>DNSサーバー</p>	<p>10.0.1.4</p>	<p>DNSサーバー MXレコードを参照する為に、使用可能なDNSサーバーのIPアドレスを指定します。</p>
<p>SMTPゲートウェイ</p>	<p><input type="checkbox"/> 全受信メールをSMTPゲートウェイへ転送</p>	<p>SMTPゲートウェイ 外部ドメインへの配送メールを特定のSMTPサーバーへ転送したいとき指定します。 全受信メールをSMTPゲートウェイへ転送。 内部ドメインへ宛てのメールをこのマシン内のメールボックスに保管せず、別のSMTPサーバ (別のマシンに用意したメールボックス) 転送したいとき指定します。 指定時には、「SMTPゲートウェイ」に転送先のマシンアドレスを必ず指定してください。</p>

IP環境	IPバージョン <input checked="" type="radio"/> IPv4 only <input type="radio"/> IPv4/6 <input type="radio"/> IPv6 only IPv6でのホスト名 <input type="text"/>	IPバージョン 本サーバーが運用されるIP versionを選択します。 IPv6でのホスト名 上記で“IPv6 Only”もしくは“IPv4/6”を選択したときIPv6で定義されている本サーバーのホスト名を定義します。																																	
管理者アカウント	administrator <input type="checkbox"/> 管理者にもエラーメールを送信する	管理者アカウント このメールサーバーの管理者アカウントを指定します。																																	
中継の制限	メール受信時のサイズ <input type="text"/> バイトまで メールボックスの保管サイズ <input type="text"/> バイトまで “CC, BCC”(同報)の受領 <input type="text"/> アドレスまで [マシンごとの中継] [利用するORDB] [ORDBへ問い合わせないIP]	メール受信時のサイズ メール受信時の最大サイズを制限したい場合バイト単位で指定します。 メールボックスの保管サイズ メールボックスの最大保管サイズを制限したい場合バイト単位で指定します。 “CC,BCC”(同報)の受領 1メールあたりの配送先アドレス数の制限を行う場合に指定します。 マシンごとの中継 接続元IPアドレスや送信元エンベロープによる中継制限を行う場合に指定します。 利用するORDB オープンリレーデータベース(ORDB)に記載されたデータを元に制限を行う場合に指定します。 ORDBへ問い合わせないIP “オープンリレーデータベース(ORDB)”に問い合わせない接続元IPアドレスを、指定します。																																	
メールフィルタ	<input checked="" type="checkbox"/> メールフィルタ機能を使用する。 [メールフィルタ] [チェック不要なIP]	メールフィルタ機能を使用する。 実行フォルダに用意された、mail.dat”の設定に従い、フィルタ対象のメールか否かを判定する場合に指定します。 メールフィルタ 上記以外の独自のフィルタパターンをここで設定します。 ここでの設定は全メールユーザーが対象になります。 チェック不要なIP チェック不要なIPアドレスを、指定します。																																	
ログ設定	<table border="1"> <tr> <td>EPSTRD</td> <td><input type="checkbox"/> 接続マシンログ</td> <td>参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> SMTP受信詳細ログ</td> <td>参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> SMTP受信ログ</td> <td>参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> SMTP送信ログ</td> <td>参照</td> </tr> <tr> <td>EPSTDD</td> <td><input type="checkbox"/> SMTP送信ローカルログ</td> <td>参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 配送失敗ログ</td> <td>参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 配送時の詳細ログ</td> <td>参照</td> </tr> <tr> <td>EPSTPOP3D</td> <td><input type="checkbox"/> POP3ログ</td> <td>参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> POP3詳細ログ</td> <td>参照</td> </tr> <tr> <td>EPSTIMAP4D</td> <td><input type="checkbox"/> IMAP4ログ</td> <td>参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> IMAP4詳細ログ</td> <td>参照</td> </tr> </table> 以下のアドレスへ受信メールの複写を転送する。 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> ジャーナル <input type="text"/>	EPSTRD	<input type="checkbox"/> 接続マシンログ	参照		<input type="checkbox"/> SMTP受信詳細ログ	参照		<input type="checkbox"/> SMTP受信ログ	参照		<input type="checkbox"/> SMTP送信ログ	参照	EPSTDD	<input type="checkbox"/> SMTP送信ローカルログ	参照		<input type="checkbox"/> 配送失敗ログ	参照		<input type="checkbox"/> 配送時の詳細ログ	参照	EPSTPOP3D	<input type="checkbox"/> POP3ログ	参照		<input type="checkbox"/> POP3詳細ログ	参照	EPSTIMAP4D	<input type="checkbox"/> IMAP4ログ	参照		<input type="checkbox"/> IMAP4詳細ログ	参照	接続マシンログ チェックするとSMTPに接続し、“MAIL FROM:”コマンドで実行を試みたサーバー及びクライアント全てのIPアドレスの記録を行います。 SMTP受信詳細ログ チェックするとSMTP Reciver(EPSTRD)の詳細な動作の記録を行います。 SMTP受信ログ チェックすると受信したメールの記録を行います。 SMTP送信ログ チェックすると外部ドメインへ送信したメールの記録を行います。 SMTP送信ローカルログ チェックすると内部ドメインへ送信したメールの記録を行います。 配送失敗ログ チェックするとSMTP Delivery Agent(EPSTDD)の配送できなかったメールの記録を行います。 配送時の詳細ログ SMTP Delivery Agent(EPSTDD)の詳細な動作の記録を行います。 POP3ログ
EPSTRD	<input type="checkbox"/> 接続マシンログ	参照																																	
	<input type="checkbox"/> SMTP受信詳細ログ	参照																																	
	<input type="checkbox"/> SMTP受信ログ	参照																																	
	<input type="checkbox"/> SMTP送信ログ	参照																																	
EPSTDD	<input type="checkbox"/> SMTP送信ローカルログ	参照																																	
	<input type="checkbox"/> 配送失敗ログ	参照																																	
	<input type="checkbox"/> 配送時の詳細ログ	参照																																	
EPSTPOP3D	<input type="checkbox"/> POP3ログ	参照																																	
	<input type="checkbox"/> POP3詳細ログ	参照																																	
EPSTIMAP4D	<input type="checkbox"/> IMAP4ログ	参照																																	
	<input type="checkbox"/> IMAP4詳細ログ	参照																																	

チェックするとPOP3の接続の記録を行います。

POP3受信詳細ログ
 チェックするとPOP3 Server(EPSTPOP3D)の詳細な動作の記録を行います。

IMAP4ログ
 チェックするとIMAP4の接続の記録を行います。

IMAP4受信詳細ログ
 チェックするとIMAP4 Server(EPSTIMAP4D)の詳細な動作の記録を行います。

以下のアドレスへ受信メールの複写を転送する。
 受信したメール全てに対し、ここで指定したメールアドレスに複写転送し、記録として残します。

ジャーナル
 受信したメールを本欄で指定したディレクトリに複写保存します。

EPSTRS

デフォルトポート: 25
 VRFY, EXPNコマンドに応答する。
 接続セッション数: 10
 IP設定 全てのアドレスに応答する 一覧のアドレスに応答する

SMTP認証方法: PLAIN LOGIN CRAM-MD5
 セキュリティレベル: 非認証有効 認証専用 認証ファイル
 認証失敗ロックアウトまでの接続回数: 1 ロックアウト期間: 60 (分)

デフォルトポート
 SMTP 受信時のポート番号を指定します。

VRFY, EXPNコマンドに응答する
 ユーザー問合せの要求に応答するか否かを指定します。

接続セッション数
 同時に処理可能な接続数を指定します。

IP設定
 運用マシンが複数のIPアドレスを設定している場合、特定のIPアドレス/ポート番号のみ応答するように指定する場合に設定します。

SMTP 認証方法
 認証時に有効な認証方法を選択します。

セキュリティレベル
 SMTP認証方法が有効とされているとき、外部からのメールサーバーよりの非認証接続をどのように対応するかを選択します。

認証失敗ロックアウトまでの接続回数
 ロックアウト期間内に同一接続アドレスからの認証失敗が許容できる回数を指定します。
 ここで指定した回数を超えた場合、不正アクセスとしてセッションを強制切断します。

ロックアウト期間
 ロックアウトから解放されるまでの期間を分単位で指定します。

EPSTDS

デフォルトポート: 25
 マルチスレッドでSPADSを実行する。
 スレッド数: 30
 リトライ間隔: 120 リトライ間隔のまま。
 リトライ間隔(受信拒否): 9 回
 リトライ間隔(回線異常): 8 時間
 リトライ間隔(マシン無応答): 24 時間
 ESMTPで送信。
 USER ID: PASSWORD:
 MXキャッシュの更新間隔: 864000 秒

デフォルトポート
 SMTP 送信時のポート番号を指定します。

マルチスレッドでEPSTDSを実行する。
 複数の配送処理を同時処理する場合にチェックします。

スレッド数
 同時配送処理数を指定します。

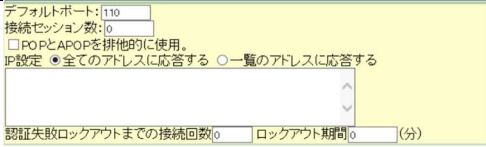
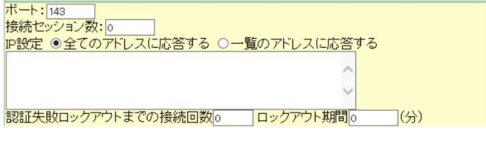

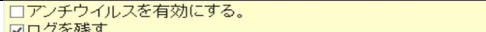
リトライ間隔
 送信に失敗した場合の次回送信サイクルを指定します。

リトライ間隔のまま
 チェックした場合、次回送信サイクルに間隔をおかず強制的に送信をトライします。

リトライ回数(受信拒否)
 送信先が拒絶理由を応答した場合の送信エラーメールを発行するまでのリトライ回数を指定します。

リトライ期間(回線異常)
 送信先への接続が可能にもかかわらず、通信タイムアウトなどの理由により送信エラーメールを発行するまでのリトライ期間を指定します。

リトライ期間(マシン無応答)
 送信先ドメインは存在するがマシンへ接続でき

	<p>ないなどの理由により送信エラーメールを発行するまでのリトライ期間を指定します。</p> <p>ESMTPで送信 送信先への通信を、SMTP認証を行って送信させたい場合にチェックし、送信時のSMTP認証方法を選択します。</p> <p>USER ID SMTP認証時のIDを指定します。</p> <p>PASSWORD SMTP認証時のPASSWORDを指定します。</p> <p>MXキャッシュの更新間隔 DNSへの問合せを減らし、送信処理が向上させるために、1度送信に成功した送信先のMXレコードを一定期間キャッシュする場合保持期間を指定します。</p>
<p>EPSTPOP3S</p>  <p>デフォルトポート: 110 接続セッション数: 0 <input type="checkbox"/> POPとAPOPを排他的に使用。 IP設定 <input checked="" type="radio"/> 全てのアドレスに応答する <input type="radio"/> 一覧のアドレスに応答する</p> <p>認証失敗ロックアウトまでの接続回数: 0 ロックアウト期間: 0 (分)</p>	<p>デフォルトポート POP3 ポート番号を指定します。</p> <p>接続セッション数 同時に処理可能な接続数を指定します。</p> <p>POPとAPOPを排他的に使用。 APOP.DATファイルが設定されているアカウントは、APOP認証だけで接続を有効にしたいとき指定します。</p> <p>IP設定 運用マシンが複数のIPアドレスを設定している場合、特定のIPアドレス/ポート番号のみ応答するように指定する場合に設定します。</p> <p>認証失敗ロックアウトまでの接続回数 ロックアウト期間内に同一接続アドレスからの認証失敗が許容できる回数を指定します。ここで指定した回数を超えた場合、不正アクセスとしてセッションを強制切断します。</p> <p>ロックアウト期間 ロックアウトから解放されるまでの期間を分単位で指定します。</p>
<p>EPSTIMAP4S</p>  <p>ポート: 143 接続セッション数: 0 IP設定 <input checked="" type="radio"/> 全てのアドレスに応答する <input type="radio"/> 一覧のアドレスに応答する</p> <p>認証失敗ロックアウトまでの接続回数: 0 ロックアウト期間: 0 (分)</p>	<p>デフォルトポート IMAP4 ポート番号を指定します。</p> <p>接続セッション数 同時に処理可能な接続数を指定します。</p> <p>IP設定 運用マシンが複数のIPアドレスを設定している場合、特定のIPアドレス/ポート番号のみ応答するように指定する場合に設定します。</p> <p>認証失敗ロックアウトまでの接続回数 ロックアウト期間内に同一接続アドレスからの認証失敗が許容できる回数を指定します。ここで指定した回数を超えた場合、不正アクセスとしてセッションを強制切断します。</p> <p>ロックアウト期間 ロックアウトから解放されるまでの期間を分単位で指定します。</p>
<p>アンチウイルスDBの更新</p>  <p><input type="checkbox"/> PROXY使用。 サーバー名: _____ ポート: 8080 更新間隔: 3 時間 <input checked="" type="checkbox"/> 更新ログを残す。</p>	<p>PROXY使用。 PROXYサーバーを経由してデータベース更新を行う必要の場合は、チェックします。</p> <p>ポート PROXYサーバーのポート番号を指定します。</p> <p>更新間隔 データベースへの問い合わせを行う間隔(1時間単位)を指定します。</p> <p>更新ログを残す。 データベースの更新問い合わせを記録する場合チェックします。</p>
<p>ウイルスチェック</p>  <p><input type="checkbox"/> アンチウイルスを有効にする。 <input checked="" type="checkbox"/> ログを残す。</p>	<p>アンチウイルスを有効にする。</p>

		<p>受信しようとするメールにウイルスが発見された場合と受信拒否を行います。</p> <p>ログを残す。 チェックすると、発見されたウイルスメールが保管されます。</p>
<p>ウイルスチェック通知設定</p>	<p><input type="checkbox"/> メールで通知する。 SMTPサーバー: <input type="text"/> ポート: 25 <input type="text"/> 送信元アドレス: <input type="text"/> 送信者名: <input type="text"/></p> <p>送信先 <input checked="" type="radio"/> 送信先を指定 送信先アドレス: <input type="text"/> <input type="radio"/> 送信元へ送信 <input type="radio"/> 両方へ送信</p> <p><input type="checkbox"/> SMTP認証で送信(PLAINのみ) ユーザー名: <input type="text"/> パスワード: <input type="text"/></p>	<p>メールで通知する。 ウイルス発見時にメールで通知するか否かを指定します。</p> <p>SMTPサーバー 通知に使用するSMTPサーバーを指定します。</p> <p>ポート SMTPサーバーのポート番号を指定します。</p> <p>送信元アドレス 通知メールの送信者アドレスを指定します。</p> <p>送信者名 通知メールの送信者名を指定します。</p> <p>送信先 通知を行いたい送信先の条件を指定します。</p> <p>送信先を指定 送信先アドレス欄に指定したアドレスに通知を行います。</p> <p>SMTP認証で送信(PLAINのみ) 送信する場合にSMTP認証を行う場合に指定します。</p> <p>ユーザ名 SMTP認証で使用するユーザーIDを指定します。</p> <p>パスワード SMTP認証で使用するパスワードを指定します。</p>
<p>証明書ファイル</p>	<p>SMTP <input type="text"/> POP3 <input type="text"/> IMAP4 <input type="text"/></p>	<p>SMTP/POP3/IMAP4の暗号化通信を行う場合の、公開鍵証明書ファイルをそれぞれ指定します。</p>
<p>秘密鍵ファイル</p>	<p>SMTP <input type="text"/> POP3 <input type="text"/> IMAP4 <input type="text"/></p>	<p>SMTP/POP3/IMAP4の暗号化通信を行う場合の、秘密鍵ファイルをそれぞれ指定します。</p>
<p>ボタン類</p>	<p><input type="checkbox"/> マシン毎の中継 <input type="checkbox"/> 利用するORDB <input type="checkbox"/> ORDBへ問合せしないIP <input type="checkbox"/> メールフィルタ <input type="checkbox"/> チェック不要なIP</p>	<p>マシン毎の中継 中継制限を設定するファイル“effect.dat”が開かれます。</p> <p>利用するORDB オープンリレーデータベース(ORDB)に記載されたデータを元に制限を行う場合に指定します。</p> <p>ORDBへ問合せしないIP オープンリレーデータベース(ORDB)に問合せないIPアドレスを、指定します。</p> <p>メールフィルタ 独自のフィルタパターンをここで設定します。</p> <p>チェック不要なIP メールフィルタでのチェック不要なIPアドレスを、指定します。</p>

サービス制御

各サービス制御の操作を行うページです。

サービス制御

ご使用のE-Post Mail Server Enterprise II の動作状況は以下の通りです。
※起動・停止ボタンを押したにもかかわらず表示に変化がない場合は「リロード」を行ってください。

EPSTRD	Running	Stop
EPSTDD	Running	Stop
EPSTPOP3D	Running	Stop
EPSTIMAP4D	Running	Stop
FSUPDD	Running	Stop
FSENGD	Running	Stop

ライセンス情報

ライセンス状態の表示を行うページです。

ライセンス

E-Post Mail Server

ライセンスキー

SMTP (5 users license)

POP3/IMAP4 (5 users license.)

Anti-Virus server license (5 users license.)

ドメイン管理

ドメインの登録・削除・詳細設定を行うページです。

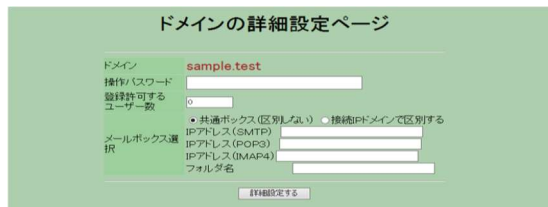


ドメインの新規作成・設定変更		内部ドメインを新たに作成したり、登録済みのドメインの設定を変更する場合ボタンをクリックします。
ドメインの削除		登録済みのドメインを削除削除する場合ボタンをクリックします。

ドメインの新規作成・設定変更

新規作成するドメイン		内部ドメインを新たに作成する場合、ドメイン名欄に入力し「新規作成する」ボタンをクリックします。新規作成されると、下段の「既存ドメインの設定変更」のリストメニューに追加表示されます。
既存ドメインの設定変更		作成済みのドメインに対して、変更や削除する場合に対象となるドメイン名を選択し、「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

既存ドメインの設定変更



操作パスワード		ドメイン別に管理者が異なる場合に、パスワードを設定し他の管理者から操作されないようにすることが出来ます。
許可するユーザ数		該当ドメインへのアカウント登録制限を行いたい場合最大許可数を設定します。
メールボックス選択		<p>共通ボックス(区別しない) OS Accountや、単一ドメイン、仮想ドメインにて運用する場合に選択します。</p> <p>接続IPドメインで区別する メールボックスをドメイン単位で分離したい場合に設定します。</p> <p>IPアドレス(SMTP) ドメインで割当てられたSMTPのIPアドレス。</p> <p>IPアドレス(POP3) ドメインで割当てられたPOP3のIPアドレス。</p> <p>IPアドレス(IMAP4) ドメインで割当てられたIMAP4のIPアドレス。</p>

フォルダ名
このドメインで利用するメールボックスフォルダ。

ドメインの削除

ドメインの削除

ドメインの削除

- 既存ドメインの削除は、以下より選択実行できます。
ドメインを選択してください。

ドメインの削除

example.test

削除する




リストメニューから削除するドメイン名を選択しボタンをクリックすると、ドメインの削除を行います。


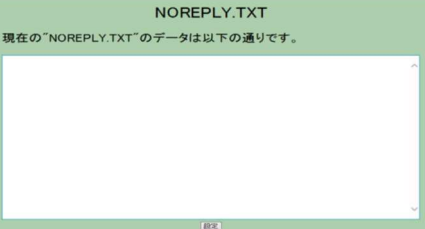




ユーザ管理

ユーザの登録・修正・削除を行うページです。

操作したいアカウント名と、目的の操作を選択し「操作をする」ボタンをクリックします。

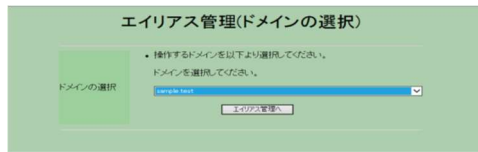
設定のリロード		最新の状態のアカウント一覧にします。 希望のアカウントが未使用かを確認します。
未使用確認		希望のアカウントが未使用かを確認します。
新規登録		アカウントの新規登録を行います。
設定変更		既存アカウントの設定変更を行います。
パスワード変更		パスワードの変更を行います。

<p>転送指定</p>		<p>任意のメールアドレスへ転送を行います。</p> <p>転送先1～10 転送先を最大10箇所指定します。</p> <p>転送オプション 添付ファイルを削除する。 転送時の添付ファイルの扱いを指定します</p> <p>転送サイズ 本文の転送サイズをバイト単位で指定することが出来ます。 0バイトを指定した場合は、メールヘッダーのみが転送されます</p> <p>メールボックスに残す。 チェックされていると、転送時にメールボックスにメールが残ります。</p> <p>不転送レポート先 転送先に届けられなかった場合の「送信不能メール」の送付先を指定します。 なお、本設定は、「送信元エンベロープ」として転送時に利用されます。</p>
<p>許可する転送元アドレス</p>		<p>このファイルに転送を許可する送信元エンベロープを1行1アドレス登録するファイルです。 このファイルが存在しない場合は全てのメールを転送します。</p>
<p>自動応答設定</p>		<p>届いたメールへの自動応答を行います。</p> <p>自動応答を有効にする。 チェックすると以下の項目の設定に従って自動応答が有効になります。 チェックをはずし「設定する」ボタンを押すと、設定は削除されます。</p> <p>件名 返信時の件名を変更したい場合に指定します。 日本語の場合、本画面から登録したメッセージは、JISコードに置換えて保存されます。</p> <p>応答者アドレス 返信時の返信元アドレスを変更したい場合に指定します。</p> <p>応答先アドレス 返信時の返信先を変更したい場合に指定します。</p> <p>自動応答オプション 受信メールを含める。 本項目をチェックしない場合は、返信時のメールに自動応答用のメッセージのみが返信されます。 本項目をチェックした場合は、返信時のメールに自動応答用のメッセージと受信内容を含めた内容が返信されます。</p> <p>ヘッダ削除。 本項目をチェックしない場合は、受信内容についてヘッダを含めます。 本項目をチェックした場合は、受信内容についてヘッダは含めません。</p> <p>送信元アドレスを記録する。 本項目をチェックしない場合は、REPLIED.TXTへの送信元アドレスの記録を行いません。</p>

		<p>本項目をチェックした場合は、REPLIED.TXTへの送信元アドレスの記録を行います。 同じアドレスには次回応答しない。 本項目をチェックしない場合は、NOREPLY.TXTへの送信元アドレスの記録を行いません。 本項目をチェックした場合は、NOREPLY.TXTへの送信元アドレスの記録を行います。 メールボックスに残す。 チェックされていると、応答時にメールボックスにメールが残ります。</p>
自動応答文編集		<p>自動応答用のメッセージを編集します。日本語の場合、本画面から登録したメッセージは、JISコードに置換えて保存されます。</p>
非応答アドレス編集		<p>自動応答をしない特定のメールアドレスを、このファイルに指定し、保存してください。たとえば、メーリングリストから来たメールに対し応答することは、マナー違反のため、ここに指定しておきます。</p>
フィルタ設定		<p>個別のフィルタ設定を行います。 テーブルへの記述方法は、メールフィルタと同じです。</p>
利用時間設定		<p>利用許可時間の設定を行います。</p>
送信先制限		<p>送信先に対する制限設定を行います。 ユーザ毎に送信先を制限する場合、許可する送信先を定義するテーブルです。記述方法は、送信許可を行う送信先を1行毎に設定します。許可するアドレスには、*ワイルドカード指定も可能です。また、テーブルに許可する送信先が無い場合、設定テーブルが存在しない場合は、送信先制限は無効になります。</p>
削除		<p>アカウントの削除を行います。</p>

エイリアス管理

エイリアスの登録・修正・削除を行うページです。



エイリアス 新規作成・設定変更	新規エイリアスの作成・既存エイリアスの設定変更を行います。 エイリアスの新規作成・設定変更	新規エイリアスの作成・既存エイリアスの設定変更を行う場合ボタンをクリックします。
エイリアスの削除	既存エイリアスの削除を行います。 エイリアスの削除	既存エイリアスの削除を行う場合ボタンをクリックします。

エイリアス新規作成・設定変更

登録するエイリアス	エイリアス名: [newname1@sample.test] 半角アルファベットにて入力して下さい。例) test=aliases@xxxx.co.jp 登録	エイリアス名に新規作成するエイリアス名を設定し、「登録」ボタンをクリックします。
既存エイリアスの設定変更	• 既存エイリアス削除(は、以下より選択実行できます。 エイリアスを選択して下さい。 newname1@sample.test 詳細設定を開く	登録済みのエイリアス名一覧から対象のエイリアス名を選択し「詳細設定を開く」ボタンをクリックするとエイリアスの設定ページが開きます。

エイリアスの設定ページ

登録するエイリアス	エイリアスの設定ページ エイリアス名: [newname1@sample.test] 登録するエイリアス名: [test@sample.test] 半角アルファベットにて入力して下さい。@0	実アドレス エイリアス名にひも付けする実アドレス名を設定し、「変更」ボタンを押します。
-----------	---	---

エイリアスの削除ページ

エイリアスの削除	• 既存エイリアス削除(は、以下より選択実行できます。 エイリアスを選択して下さい。 newname1@sample.test 削除する	削除したいエイリアス名を一覧から選択し、「削除する」ボタンを押します。
----------	---	-------------------------------------

メーリングリスト管理

メーリングリストの登録・修正・削除を行うページです。

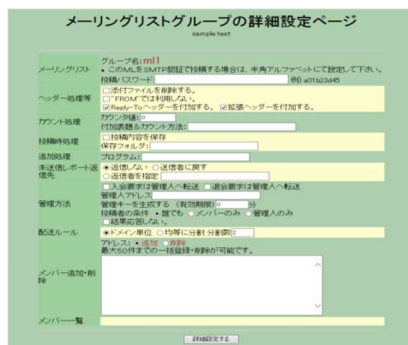


メーリングリストグループの 新規・修正	新規・修正の設定を行います。 メーリングリストグループの新規作成・設定変更	新規メーリングリストの作成・既存メーリングリストの設定変更を行う場合ボタンをクリックします。
メーリングリストグループの 削除	既存メーリングリストグループ削除を行います。 メーリングリストグループの削除	既存メーリングリストの削除を行う場合ボタンをクリックします。

メーリングリストグループ新規作成・設定変更

新規ML	メーリングリスト名: <ul style="list-style-type: none"> 半角アルファベットにて入力して下さい。例) test-mil@xxxx.co.jp <input type="text"/> 登録・設定する	メーリングリスト名に新規作成するメーリングリスト名を設定し、「登録・設定する」ボタンをクリックします。
MLの修正	<ul style="list-style-type: none"> 既存リスト修正時は、以下より選択実行できます。 メーリングリストを選択してください。 <input type="text" value="mil"/> 詳細設定を開く	登録済みのメーリングリスト名一覧から対象のメーリングリスト名を選択し「詳細設定を開く」ボタンをクリックするとメーリングリストの設定ページが開きます。

メーリングリストグループの詳細設定ページ



メーリングリスト	グループ名: mil <ul style="list-style-type: none"> このMLをSMTP認証で投稿する場合は、半角アルファベットにて設定して下さい。 投稿パスワード: a01b23445	投稿パスワード メーリングリスト投稿時に「SMTP認証を行わない投稿は拒否する」方法で、投稿者を信任する場合に設定を行います。
ヘッダー処理等	<input type="checkbox"/> 添付ファイルを削除する。 <input type="checkbox"/> FROMでは利用しない。 <input checked="" type="checkbox"/> Reply-Toヘッダーを付加する。 <input checked="" type="checkbox"/> 拡張ヘッダーを付加する。	添付ファイルを削除する。 投稿されたメールに添付ファイルが有る場合は除去して配信します。 FROMでは利用しない 対応するメーリングリスト名を送信元アカウントとしての利用の有無を指定します。 Reply-To:ヘッダを付加する。 対応するメーリングリストへの投稿メールにReply-To:ヘッダを付加するか否かを指定します。
カウント処理	カウンタ値: <input type="text"/> 付加表題 & カウント方法: <input type="text"/>	カウンタ値 対象となるメーリングリストに投稿された

		<p>回数をカウントします。</p> <p>付加表題&カウント方法 対象となるメーリングリストに投稿された、表題(Subject)にリスト固有の名称及び、「2. カウンタ値」で示すカウント数を付加します。</p>
投稿時処理	<input type="checkbox"/> 投稿内容を保存 保存フォルダ: <input type="text"/>	<p>投稿内容を保存 メーリングリストに投稿されたデータを「保存フォルダ」で指定した場所に保管しておきたいときチェックします。</p>
追加処理	プログラム: <input type="text"/>	<p>追加処理プログラム メーリングリストに投稿されたデータに対し何らかの加工を行いたい場合、ここで処理プログラムを指定してください。</p>
未送信レポート返信先	<input checked="" type="radio"/> 返信しぬ <input type="radio"/> 送信者に戻す <input type="radio"/> 返信者を指定 <input type="text"/>	送信エラーのレポート発行について選択します。
管理方法	<input type="checkbox"/> 入会要求は管理人へ転送 <input type="checkbox"/> 退会要求は管理人へ転送 管理人アドレス <input type="text"/> 管理キーを生成する (有効期限) <input type="text"/> 分 投稿者の条件 <input type="radio"/> 誰でも <input type="radio"/> メンバーのみ <input type="radio"/> 管理人のみ <input type="checkbox"/> 結果応答しぬ。	<p>入会要求は管理人へ転送 JOINメッセージのメールは管理者へ転送されます。</p> <p>退会要求は管理人へ転送 LEAVEメッセージメールは管理者へ転送されます。</p> <p>管理人アドレス 管理人のメールアドレスを設定します。</p> <p>管理キーを生成する 管理人による入退会、メンバー一覧取得、記事削除の各要求の詐称防止の為、KEYGENコマンドで事前に作成された管理キーを表題(Subject:)に添付しないと処理を出来なくします。</p> <p>投稿者の条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 誰でも 不特定の人物からメッセージ送信を可能とします。 メンバーのみ リストに登録されたメンバーのみ送信を可能とします。 管理人のみ 「管理人アドレス」に指定したメールアドレスのみ送信を可能とします。 <p>結果応答はしない MLへの投稿可能メンバー以外からの投稿に対する応答や、ML制御に関する結果の応答をさせたくない場合にチェックします。</p>
配送ルール	<input checked="" type="radio"/> ドメイン単位 <input type="radio"/> 均等に分割 分割数 <input type="text" value="2"/>	<p>配送ルール メーリングリストの配送時に参加アドレスを分配し、効率良く配送する方法を設定します。</p>
メンバー追加・削除	<p>アドレス: <input type="text"/> <input checked="" type="radio"/>追加 <input type="radio"/>削除 最大50件までの一括登録・削除が可能です。</p> <input type="text"/>	参加メンバーのアドレス登録・削除を行います。
メンバー一覧		現時点での参加メンバーの一覧が表示されます。

メーリングリストグループの削除ページ

MLの削除	<p>• 既存リスト削除(は、以下より選択実行できます。 メーリングリストを選択してください。</p> <p><input type="text" value="ml1"/> <input type="button" value="削除する"/></p>	削除したいメーリングリスト名を一覧から選択し、「削除する」ボタンを押します。
-------	---	--

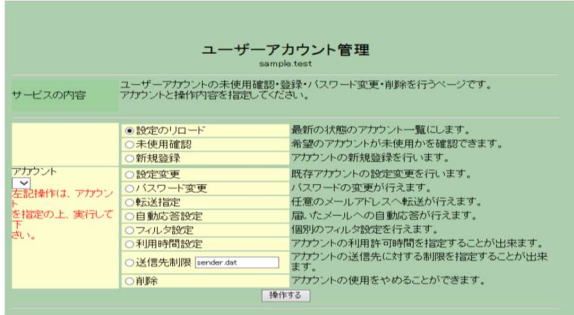
ドメイン管理者用





ユーザ管理




ドメイン管理者が管理するドメイン内のユーザーの登録・修正・削除を行うページです。



操作したいアカウント名と、目的の操作を選択し「操作をする」ボタンをクリックします。



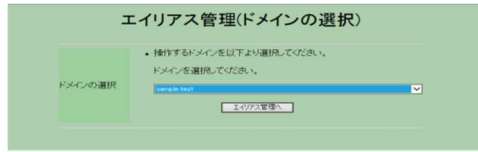
設定のリロード		最新の状態のアカウント一覧にします。 希望のアカウントが未使用かを確認します。
未使用確認		
新規登録		アカウントの新規登録を行います。
設定変更		既存アカウントの設定変更を行います。
パスワード変更		パスワードの変更を行います。

<p>転送指定</p>		<p>任意のメールアドレスへ転送を行います。</p> <p>転送先1～10 転送先を最大10箇所指定します。</p> <p>転送オプション 添付ファイルを削除する。 転送時の添付ファイルの扱いを指定します</p> <p>転送サイズ 本文の転送サイズをバイト単位で指定することが出来ます。 0バイトを指定した場合は、メールヘッダーのみが転送されます</p> <p>メールボックスに残す。 チェックされていると、転送時にメールボックスにメールが残ります。</p> <p>不転送レポート先 転送先に届けられなかった場合の「送信不能メール」の送付先を指定します。 なお、本設定は、「送信元エンベロープ」として転送時に利用されます。</p>
<p>許可する転送元アドレス</p>		<p>このファイルに転送を許可する送信元エンベロープを1行1アドレス登録するファイルです。 このファイルが存在しない場合は全てのメールを転送します。</p>
<p>自動応答設定</p>		<p>届いたメールへの自動応答を行います。</p> <p>自動応答を有効にする。 チェックすると以下の項目の設定に従って自動応答が有効になります。 チェックをはずし「設定する」ボタンを押すと、設定は削除されます。</p> <p>件名 返信時の件名を変更したい場合に指定します。 日本語の場合、本画面から登録したメッセージは、JISコードに置換えて保存されます。</p> <p>応答者アドレス 返信時の返信元アドレスを変更したい場合に指定します。</p> <p>応答先アドレス 返信時の返信先を変更したい場合に指定します。</p> <p>自動応答オプション 受信メールを含める。 本項目をチェックしない場合は、返信時のメールに自動応答用のメッセージのみが返信されます。 本項目をチェックした場合は、返信時のメールに自動応答用のメッセージと受信内容を含めた内容が返信されます。</p> <p>ヘッダ削除。 本項目をチェックしない場合は、受信内容についてヘッダを含めます。 本項目をチェックした場合は、受信内容についてヘッダは含めません。</p> <p>送信元アドレスを記録する。 本項目をチェックしない場合は、REPLIED.TXTへの送信元アドレスの記録を行いません。</p>

		<p>本項目をチェックした場合は、REPLIED.TXTへの送信元アドレスの記録を行います。 同じアドレスには次回応答しない。 本項目をチェックしない場合は、NOREPLY.TXTへの送信元アドレスの記録を行いません。 本項目をチェックした場合は、NOREPLY.TXTへの送信元アドレスの記録を行います。 メールボックスに残す。 チェックされていると、応答時にメールボックスにメールが残ります。</p>																												
<p>自動応答文編集</p>	<p>AUTORPLY.TXT 現在の“AUTORPLY.TXT”のデータは以下の通りです。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; height: 60px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: right;">[保存]</p>	<p>自動応答用のメッセージを編集します。日本語の場合、本画面から登録したメッセージは、JISコードに置換えて保存されます。</p>																												
<p>非応答アドレス編集</p>	<p>NOREPLY.TXT 現在の“NOREPLY.TXT”のデータは以下の通りです。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; height: 60px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: right;">[保存]</p>	<p>自動応答をしない特定のメールアドレスを、このファイルに指定し、保存してください。たとえば、メーリングリストから来たメールに対し応答することは、マナー違反のため、ここに指定しておきます。</p>																												
<p>フィルタ設定</p>	<p>ユーザー別フィルタの設定 <small>sample text</small></p> <p>フィルタの設定するユーザーアカウントを指定してください。</p> <p>アカウント: test1 指定するフィルタ: [プルダウン] <input type="button" value="実行"/></p>	<p>個別のフィルタ設定を行います。</p> <p>テーブルへの記述方法は、メールフィルタと同じです。</p>																												
<p>利用時間設定</p>	<p>利用時間の設定 <small>sample text</small></p> <p>メールアドレス名とパスワード及び転送先メールアドレスを設定してください。</p> <p>アカウント: test1</p> <p>全てにチェックが無い場合は利用時間設定が解除されます。</p> <p>許可日: 開始時間～終了時間</p> <table border="0"> <tr><td>日</td><td>00:00</td><td>～</td><td>18:00</td></tr> <tr><td>月</td><td>00:00</td><td>～</td><td>18:00</td></tr> <tr><td>火</td><td>00:00</td><td>～</td><td>18:00</td></tr> <tr><td>水</td><td>00:00</td><td>～</td><td>18:00</td></tr> <tr><td>木</td><td>00:00</td><td>～</td><td>18:00</td></tr> <tr><td>金</td><td>00:00</td><td>～</td><td>18:00</td></tr> <tr><td>土</td><td>00:00</td><td>～</td><td>18:00</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">[設定]</p>	日	00:00	～	18:00	月	00:00	～	18:00	火	00:00	～	18:00	水	00:00	～	18:00	木	00:00	～	18:00	金	00:00	～	18:00	土	00:00	～	18:00	<p>利用許可時間の設定を行います。</p>
日	00:00	～	18:00																											
月	00:00	～	18:00																											
火	00:00	～	18:00																											
水	00:00	～	18:00																											
木	00:00	～	18:00																											
金	00:00	～	18:00																											
土	00:00	～	18:00																											
<p>送信先制限</p>	<p>sender.dat <small>sample text</small></p> <p>現在の“sender.dat”のデータは以下の通りです。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; height: 60px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: right;">[保存]</p>	<p>送信先に対する制限設定を行います。</p> <p>ユーザ毎に送信先を制限する場合、許可する送信先を定義するテーブルです。記述方法は、送信許可を行う送信先を1行毎に設定します。許可するアドレスには、*ワイルドカード指定も可能です。また、テーブルに許可する送信先が無い場合、設定テーブルが存在しない場合は、送信先制限は無効になります。</p>																												
<p>削除</p>	<p>メールアドレスの削除 <small>sample text</small></p> <p>削除するメールアドレスを指定してください。</p> <p>アカウント: test1 使用していたメールアドレス: [プルダウン] 削除する。 [残す]。 <input type="button" value="実行"/></p>	<p>アカウントの削除を行います。</p>																												

エイリアス管理

エイリアスの登録・修正・削除を行うページです。



エイリアス 新規作成・設定変更	新規エイリアスの作成・既存エイリアスの設定変更を行います。 エイリアスの新規作成・設定変更	新規エイリアスの作成・既存エイリアスの設定変更を行う場合ボタンをクリックします。
エイリアスの削除	既存エイリアスの削除を行います。 エイリアスの削除	既存エイリアスの削除を行う場合ボタンをクリックします。

エイリアス新規作成・設定変更

登録するエイリアス	エイリアス名: <input type="text" value="newname1@sample.test"/> 半角アルファベットにて入力して下さい。例) test=aliases@xxxx.co.jp 登録	エイリアス名に新規作成するエイリアス名を設定し、「登録」ボタンをクリックします。
既存エイリアスの設定変更	・ 既存エイリアス削除は、以下より選択実行できます。 エイリアスを選択して下さい。 <input type="text" value="newname1@sample.test"/> 詳細設定を開く	登録済みのエイリアス名一覧から対象のエイリアス名を選択し「詳細設定を開く」ボタンをクリックするとエイリアスの設定ページが開きます。

エイリアスの設定ページ

登録するエイリアス	エイリアスの設定ページ エイリアス名: <input type="text" value="newname1@sample.test"/> 登録するエイリアス名: <input type="text" value="test@sample.test"/> 半角アルファベットにて入力して下さい。@0	実アドレス エイリアス名にひも付けする実アドレス名を設定し、「変更」ボタンを押します。
-----------	---	--

エイリアスの削除ページ

エイリアスの削除	・ 既存エイリアス削除は、以下より選択実行できます。 エイリアスを選択して下さい。 <input type="text" value="newname1@sample.test"/> 削除する	削除したいエイリアス名を一覧から選択し、「削除する」ボタンを押します。
----------	---	-------------------------------------

メーリングリスト管理

メーリングリストの登録・修正・削除を行うページです。

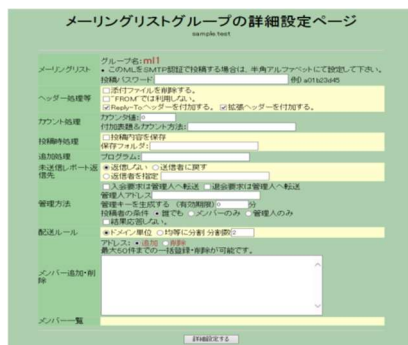


メーリングリストグループの 新規・修正	新規・修正の設定を行います。 メーリングリストグループの新規作成・設定変更	新規メーリングリストの作成・既存メーリングリストの設定変更を行う場合ボタンをクリックします。
メーリングリストグループの 削除	既存メーリングリストグループ削除を行います。 メーリングリストグループの削除	既存メーリングリストの削除を行う場合ボタンをクリックします。

メーリングリストグループ新規作成・設定変更

新規ML	メーリングリスト名: <ul style="list-style-type: none"> 半角アルファベットにて入力して下さい。例) test-mil@xxxx.co.jp <input type="button" value="登録・設定する"/>	メーリングリスト名に新規作成するメーリングリスト名を設定し、「登録・設定する」ボタンをクリックします。
MLの修正	<ul style="list-style-type: none"> 既存リスト修正時は、以下より選択実行できます。 メーリングリストを選択してください。 <input type="text" value="mil"/> <input type="button" value="詳細設定を開く"/>	登録済みのメーリングリスト名一覧から対象のメーリングリスト名を選択し「詳細設定を開く」ボタンをクリックするとメーリングリストの設定ページが開きます。

メーリングリストグループの詳細設定ページ



メーリングリスト	グループ名: mil <ul style="list-style-type: none"> このMLをSMTP認証で投稿する場合は、半角アルファベットにて設定して下さい。 投稿パスワード: a01b23445	投稿パスワード メーリングリスト投稿時に「SMTP認証を行わない投稿は拒否する」方法で、投稿者を信任する場合に設定を行います。
ヘッダー処理等	<input type="checkbox"/> 添付ファイルを削除する。 <input type="checkbox"/> "FROM"では利用しない。 <input checked="" type="checkbox"/> Reply-To:ヘッダーを付加する。 <input checked="" type="checkbox"/> 拡張ヘッダーを付加する。	添付ファイルを削除する。 投稿されたメールに添付ファイルが有る場合は除去して配信します。 "FROM"では利用しない 対応するメーリングリスト名を送信元アカウントとしての利用の有無を指定します。 Reply-To:ヘッダを付加する。 対応するメーリングリストへの投稿メールにReply-To:ヘッダを付加するか否かを指定します。
カウント処理	カウンタ値: 0 付加表題 & カウント方法:	カウンタ値 対象となるメーリングリストに投稿された

		<p>回数をカウントします。</p> <p>付加表題&カウント方法 対象となるメーリングリストに投稿された、表題(Subject)にリスト固有の名称及び、「2. カウンタ値」で示すカウント数を付加します。</p>
投稿時処理	<input type="checkbox"/> 投稿内容を保存 保存フォルダ: <input type="text"/>	<p>投稿内容を保存 メーリングリストに投稿されたデータを「保存フォルダ」で指定した場所に保管しておきたいときチェックします。</p>
追加処理	プログラム: <input type="text"/>	<p>追加処理プログラム メーリングリストに投稿されたデータに対し何らかの加工を行いたい場合、ここで処理プログラムを指定してください。</p>
未送信レポート返信先	<input checked="" type="radio"/> 返信しぬ <input type="radio"/> 送信者に戻す <input type="radio"/> 返信者を指定 <input type="text"/>	送信エラーのレポート発行について選択します。
管理方法	<input type="checkbox"/> 入会要求は管理人へ転送 <input type="checkbox"/> 退会要求は管理人へ転送 管理人アドレス <input type="text"/> 管理キーを生成する (有効期限) <input type="text"/> 分 投稿者の条件 <input type="radio"/> 誰でも <input type="radio"/> メンバーのみ <input type="radio"/> 管理人のみ <input type="checkbox"/> 結果応答しぬ。	<p>入会要求は管理人へ転送 JOINメッセージのメールは管理者へ転送されます。</p> <p>退会要求は管理人へ転送 LEAVEメッセージメールは管理者へ転送されます。</p> <p>管理人アドレス 管理人のメールアドレスを設定します。</p> <p>管理キーを生成する 管理人による入退会、メンバー一覧取得、記事削除の各要求の詐称防止の為、KEYGENコマンドで事前に作成された管理キーを表題(Subject:)に添付しないと処理を出来なくします。</p> <p>投稿者の条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 誰でも 不特定の人物からメッセージ送信を可能とします。 メンバーのみ リストに登録されたメンバーのみ送信を可能とします。 管理人のみ 「管理人アドレス」に指定したメールアドレスのみ送信を可能とします。 <p>結果応答はしない MLへの投稿可能メンバー以外からの投稿に対する応答や、ML制御に関する結果の応答をさせたくない場合にチェックします。</p>
配送ルール	<input checked="" type="radio"/> ドメイン単位 <input type="radio"/> 均等に分割 分割数 <input type="text"/>	<p>配送ルール メーリングリストの配送時に参加アドレスを分配し、効率良く配送する方法を設定します。</p>
メンバー追加・削除	<p>アドレス: <input type="text"/> <input checked="" type="radio"/>追加 <input type="radio"/>削除 最大50件までの一括登録・削除が可能です。</p> <input type="text"/>	参加メンバーのアドレス登録・削除行います。
メンバー一覧		現時点での参加メンバーの一覧が表示されます。

メーリングリストグループの削除ページ

MLの削除	<p>• 既存リスト削除は、以下より選択実行できます。 メーリングリストを選択してください。</p> <p><input type="text" value="ml1"/></p> <p><input type="button" value="削除する"/></p>	削除したいメーリングリスト名を一覧から選択し、「削除する」ボタンを押します。
-------	---	--

ユーザ管理用

ユーザが個別に自動転送・自動応答・パスワード変更・メールフィルタ設定を行うためのメニューです。

WEB管理MENU
Webから各種設定を行います。
アカウントと操作内容を指定してください。

ドメイン [sample.test]
*Soft accountが適用の場合はドメインは必須
アカウント [test1]
パスワード [.....]

操作内容
 転送設定
 自動応答設定
転送設定と自動応答設定は共存できません。最後の設定が有効になります。
 パスワード変更
 フィルタ設定

[<戻る](#)

転送設定

許可する転送元アドレス

アカウント: test1
ドメイン: sample.test

転送先1: user1@yourmail-sample.test
 転送先2: _____
 転送先3: _____
 転送先4: _____
 転送先5: _____
 転送先6: _____
 転送先7: _____
 転送先8: _____
 転送先9: _____
 転送先10: _____

転送オプション
 添付ファイルを削除する。
 転送サイズ: _____ byte
 メールボックスに残す。

不転送レポート先
 管理者
 送信者
 送信元
 送信先を指定

任意のメールアドレスへ転送を行います。

転送先1~10

転送先を最大10箇所指定します。

転送オプション

添付ファイルを削除する。

転送時の添付ファイルの扱いを指定します

転送サイズ

本文の転送サイズをバイト単位で指定することができます。

0バイトを指定した場合は、メールヘッダーのみが転送されます

メールボックスに残す。

チェックされていると、転送時にメールボックスにメールが残ります。

不転送レポート先

転送先に届けられなかった場合の「送信不能メール」の送付先を指定します。

なお、本設定は、「送信元エンベロープ」として転送時に利用されます。

許可する転送元アドレス

現在の"PERMITFROM.TXT"のデータは以下の通りです。

user1@yourmail-test

このファイルに転送を許可する送信元エンベロープを1行1アドレス登録するファイルです。
このファイルが存在しない場合は全てのメールを転送します。

自動応答設定

自動応答文編集
 返信先アドレス編集

アカウント: test1
ドメイン: sample.test

件名: test_reply
 応答者アドレス: _____
 応答先アドレス: _____

自動応答オプション
 自動応答を有効にする。
※ソフトがSoftが適用の場合は有効になりません。
 受信メールを巻める。
 ヘッダ削除。
 送信元アドレスを転送する。
 同一アドレスには次回応答しません。
 メールボックスに残す。

届いたメールへの自動応答を行います。

自動応答を有効にする。

チェックすると以下の項目の設定に従って自動応答が有効になります。

チェックをはずし「設定する」ボタンを押すと、設定は削除されます。

件名

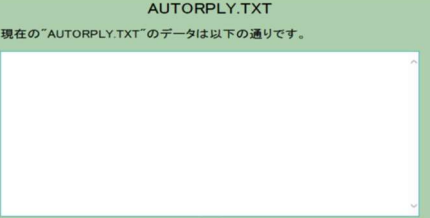
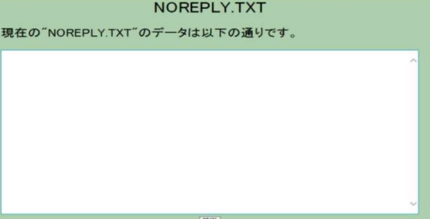


返信時の件名を変更したい場合に指定します。
日本語の場合、本画面から登録したメッセージは、JISコードに置換えて保存されます。

応答者アドレス

返信時の返信元アドレスを変更したい場合に指定します。

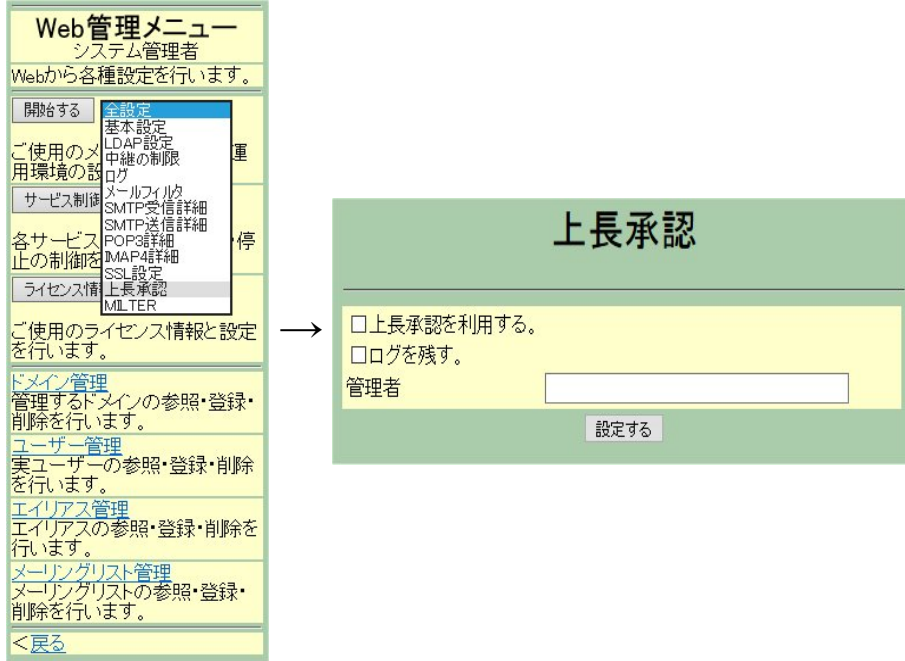
応答先アドレス

返信時の返信先を変更したい場合に指定しま

		<p>す。</p> <p>自動応答オプション</p> <p>受信メールを含める。 本項目をチェックしない場合は、返信時のメールに自動応答用のメッセージのみが返信されます。 本項目をチェックした場合は、返信時のメールに自動応答用のメッセージと受信内容を含めた内容が返信されます。</p> <p>ヘッダ削除。 本項目をチェックしない場合は、受信内容についてヘッダを含めます。 本項目をチェックした場合は、受信内容についてヘッダは含めません。</p> <p>送信元アドレスを記録する。 本項目をチェックしない場合は、REPLIED.TXTへの送信元アドレスの記録を行いません。 本項目をチェックした場合は、REPLIED.TXTへの送信元アドレスの記録を行います。</p> <p>同じアドレスには次回応答しない。 本項目をチェックしない場合は、NOREPLY.TXTへの送信元アドレスの記録を行いません。 本項目をチェックした場合は、NOREPLY.TXTへの送信元アドレスの記録を行います。</p> <p>メールボックスに残す。 チェックされていると、応答時にメールボックスにメールが残ります。</p>
自動応答文編集		自動応答用のメッセージを編集します。日本語の場合、本画面から登録したメッセージは、JISコードに置換えて保存されます。
非応答アドレス編集		自動応答をしない特定のメールアドレスを、このファイルに指定し、保存してください。たとえば、メーリングリストから来たメールに対し応答することは、マナー違反のため、ここに指定しておきます。
パスワード変更		パスワードの変更を行います。
フィルタ設定		<p>個別のフィルタ設定を行います。</p> <p>テーブルへの記述方法は、メールフィルタと同じです。</p>

Boss Check(上長承認)機能

上長承認を有効にするには、[Web 管理メニュー]から[上長承認]を選択し[開始する]ボタンをクリックします。



上長承認を利用する。

上長承認を利用する場合、チェックボックスをオンにします。

ログを残す。

承認・却下の実行履歴を残す場合、チェックボックスをオンにします。

管理者

履歴の取得や削除、上長に代わって承認・却下の処理を行える管理者のメールアドレスを設定します。

複数のアカウントを管理者とする場合は、半角スペースを挿入して連続して設定します。

以上の設定が終わったら[OK]ボタンを押して設定を保存し、[サービス制御]ボタンをクリックし、EPSTRD について停止→開始を行うと機能が有効になります。

Boss Check(上長承認)機能の設定は、E-Post Mail/SMTP Server の“ユーザーアカウント管理”→“送信先制限”より設定します。



送信先制限

ユーザ毎に送信先を制限する場合、許可する送信先を定義するテーブルです。記述方法は、送信許可を行う送信先を1行毎に設定します。許可するアドレスには、'*'ワイルドカード指定も可能です。また、テーブルに許可する送信先が無い場合、設定テーブルが存在しない場合は、送信先制限は無効になります。

例) 特定のアドレス(user1@domain.co.jp, user2@domain.co.jp)のみに送信を可能にする場合

user1@domain.co.jp

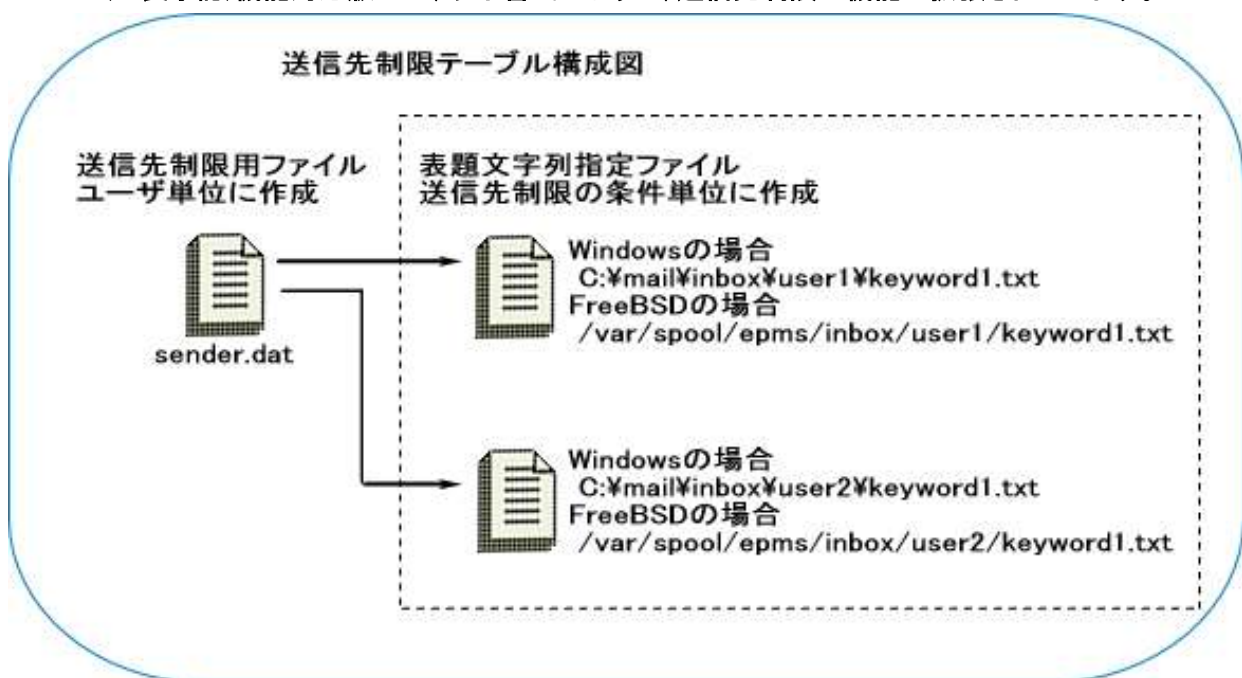
user2@domain.co.jp

例) 特定のドメイン宛(domain.co.jp)のみに送信を許可する場合

*@domain.co.jp

送信先制限の拡張

BossCheck(上長承認)機能対応版では、以下書式のように、送信先制限の機能が拡張されています。



送信先制限ファイル(sender.dat)の書式

<送信先アドレス>:<動作コード>:<"表題文字列" or "file=表題文字列指定ファイル名" or "to0=必須送信先" or "to1=禁止送信先" or "cc0=必須送信先" or "cc1=禁止送信先">:<上長アドレス1>,<上長アドレス2>

[動作コード]について

動作コードは、送信先アドレスの指定に対しどのようなアクションを行うかを指定する以下のコードです。

- 1: 送信拒否(本制御コード'-1'では、<表題文字列>以降の指定は無視されます。)
- 0: 送信許可(本制御コード'0'では、<表題文字列>以降の指定は無視されます。)
- 1: 指定アドレス宛の全てのメールに承認が必要(※1)
- 2: 指定アドレス宛の添付付きメールのみにメール承認が必要(※1)

※1 本承認設定(動作コード: 1 および 2)では、「送信先ごとに異なる承認条件が設定されている場合、これらの送信先へ同報送信した場合の動作については、送信先がクライアントより指定された順番で、最初に一致した上長承認条件が優先されます。

[to0=必須送信先]について

この送信先が含まれないとき、上長承認を実施します。

[to1=禁止送信先]について

この送信先が含まれているとき、上長承認を実施します。

[cc0=必須送信先]について

同報先に、この送信先が含まれないとき、上長承認を実施します。

[cc1=禁止送信先]について

同報先に、この送信先が含まれているとき、上長承認を実施します。

[file=表題文字列指定ファイル名]について

表題文字列指定ファイル名を設定すると、指定した送信先アドレスに対し複数のキーワードの指定やキーワード毎に承認先を規定することが出来ます。

表題文字列指定ファイル書式

<"表題文字列" or "to0=必須送信先" or "to1=禁止送信先" or "cc0=必須送信先" or "cc1=禁止送信先">:<上長アドレス1>,<上長アドレス2>

例1) 送信先ドメイン(domainA.co.jp)宛は全て、上長(user2@domain.co.jp)に承認が必要な場合

*@domain.co.jp:1::user2@domain.co.jp ← 指定ドメイン宛は、全て、上長へ確認メールが送信

*:0 ← 上記以外はスルーでメール送信

例2) 送信先ドメイン(domainA.co.jp)宛は、上長(user2@domain.co.jp)に承認が必要な場合

*@domain.co.jp:1:社外秘:user2@domain.co.jp ← 指定ドメインかつ題名に"社外秘"が含まれる場合は、上長へ確認メールが送信

*:0 ← 上記以外はスルーでメール送信

例3) 送信先ドメイン(domainA.co.jp)宛は、表題文字列指定ファイル名に記載されたキーワードが題名に含まれる場合は、上長(user2@domain.co.jp)に承認が必要な場合

Windows の場合

*@domain.co.jp:1:file=c:\¥xxx¥keyword.txt:user2@domain.co.jp ← 指定ドメインかつ表題文字列指定ファイルに文字列が含まれる場合は、上長へ確認メールが送信

FreeBSD の場合

*@domain.co.jp:1:file=/var/spool/epms/xxxx/keyword.txt:user2@domain.co.jp ← 指定ドメインかつ表題文字列指定ファイルに文字列が含まれる場合は、上長へ確認メールが送信

*:0 ← 上記以外はスルーでメール送信

<c:\¥xxx¥keyword.txt>の内容例)

丸秘 ← 承認先が指定されない場合は、デフォルトの承認先へ

見積:eigy@domain.co.jp ← 承認先が指定されている場合は、指定された承認先へ

社外秘

:

例4) 送信先ドメイン(domainA.co.jp)宛の添付付きは、上長(user2@domain.co.jp)に承認が必要な場合

*@domain.co.jp:2:社外秘:user2@domain.co.jp ← 指定ドメインかつ題名に“社外秘”が含まれる添付付きの場合
は、上長へ確認メールが送信

*:0 ← 上記以外はスルーでメール送信

例5) 送信先ドメイン(domainA.co.jp)宛の添付付きで、表題文字列指定ファイル名に記載されたキーワードが題名
に含まれる場合は、上長(user2@domain.co.jp)に承認が必要な場合

Windows の場合

*@domain.co.jp:2:file=c:¥xxx¥keyword.txt:user2@domain.co.jp ← 指定ドメインかつ表題文字列指定ファイルに文
字列が含まれる場合は、上長へ確認メールが送信

FreeBSD の場合

*@domain.co.jp:2:file=/var/spool/epms/xxxx/keyword.txt:user2@domain.co.jp ← 指定ドメインかつ表題文字列
指定ファイルに文字列が含まれる場合は、上長へ確認メールが送信

*:0 ← 上記以外はスルーでメール送信

<c:¥xxx¥keyword.txt>の内容例)

丸秘 ← 承認先が指定されない場合は、デフォルトの承認先へ

見積:eigy@domain.co.jp ← 承認先が指定されている場合は、指定された承認先へ

社外秘

:

また、承認制御の方法は届いた承認依頼メールが作成した**制御用リンク**をクリックし、作成されたメールを送信す
ることで処理を完了させます。

制御用リンクには、

<承認依頼アドレス>と表題に<制御ワード>_<対象メールID@ユニーク番号>

が含まれます。

[制御ワード]について

制御ワードは、承認待ちフォルダに溜められたメールを操作するためのワードで以下の制御をそれぞれ行いま
す。

表題に以下の制御ワードを記入し、承認依頼者宛にメールを送ることで、許可、否認の動作が実施されます。

承認命令

approval_<対象メールID@ユニーク番号>

否認命令

reject_<対象メールID@ユニーク番号>

また、表題に以下の制御ワードを記入し、担当上長が自分宛にメールを送ることで、担当承認待ち一覧や、承認依頼内容を再取得することができます。

担当上長の承認待ち一覧の取得命令

```
waitlist_
```

担当上長の承認依頼メールの再送取得命令

```
waitlist_<対象メールID@ユニーク番号>
```

担当上長が何らかの理由で、代理の承認者を割り当てたい場合、表題に以下の制御ワードを記入し、担当上長が自分宛にメールを送ることで、承認依頼メールを代理承認者に送信させることができます。

承認者の代理人設定命令

```
setproxyuser_<代理承認者アドレス>
```

代理の承認者を割り当てを解除したい場合、表題に以下の制御ワードを記入し、担当上長が自分宛にメールを送ることで、承認依頼メールを上長自身への送信へ戻すことができます。

承認者の代理人解除命令

```
setproxyuser_
```

代理の承認者の割り当て状態を確認したい場合、表題に以下の制御ワードを記入し、担当上長が自分宛にメールを送ることで、代理承認の設定の有無をメールで確認することができます。

承認者の代理人設定状態確認命令

```
getproxyuser_
```

履歴の取得

```
approvalgetlog_<取得対象の年月日(YMMDD)>
```

履歴の取得は、“管理者アカウント”で定義されているメールアカウントからの要求のみ処理します。履歴は、日単位でファイルとして保存されていますので、必要な年月日(YMMDD)を指定します。

例1) 2007年06月20日の履歴を取得する場合

```
approvalgetlog_070620
```

例2) 2007年06月の履歴を取得する場合

```
approvalgetlog_0706
```

例3) 2007 年の履歴を取得する場合

approvalgetlog_07

例4) 保存されている全ての履歴を取得する場合

approvalgetlog_

履歴の削除

approvaldellog_<削除対象の年月日(YMMMDD)>

履歴の削除は、“管理者アカウント”で定義されているメールアカウントからの要求のみ処理します。

履歴は、日単位でファイルとして保存されていますので、必要な年月日(YMMMDD)を指定します。

例1) 2007 年 06 月 20 日の履歴を削除する場合

approvaldeklog_070620

例2) 2007 年 06 月の履歴を削除する場合

approvaldellog_0706

例3) 2007 年の履歴を削除する場合

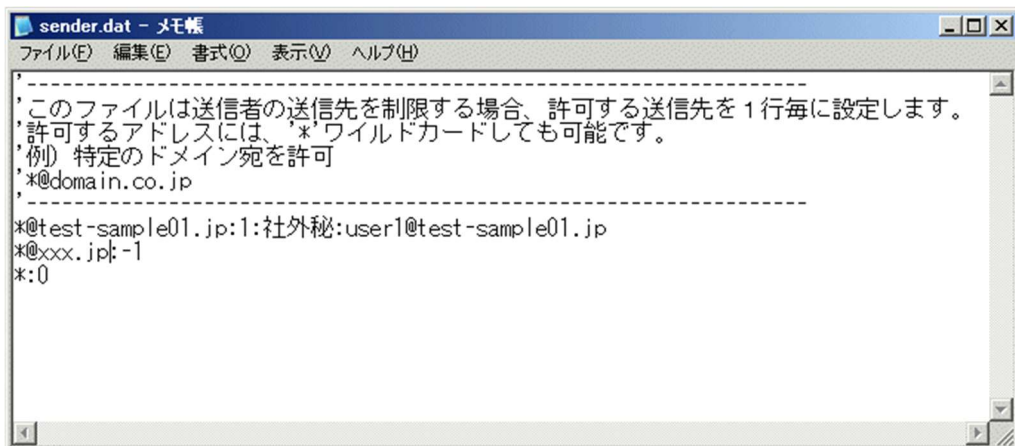
approvaldellog_07

例4) 保存されている全ての履歴を削除する場合

approvaldellog_

上長承認するには

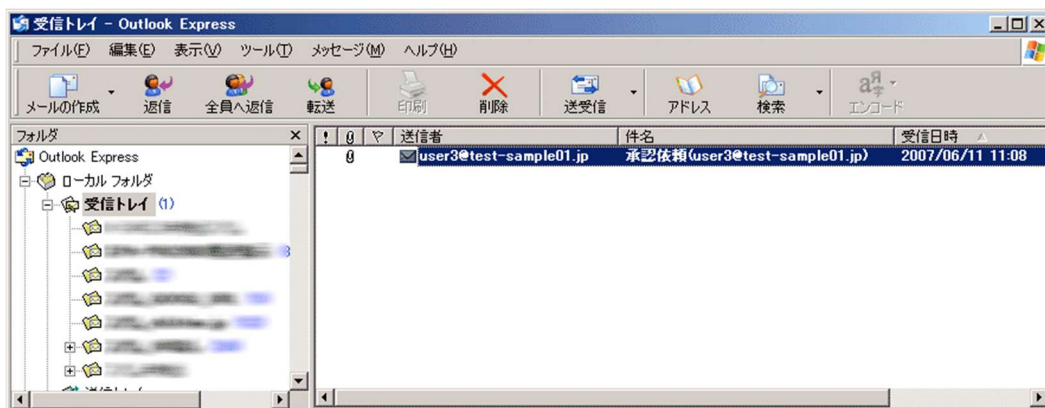
上長承認を行うユーザに「送信先制限」を選択し以下のような設定を行います。



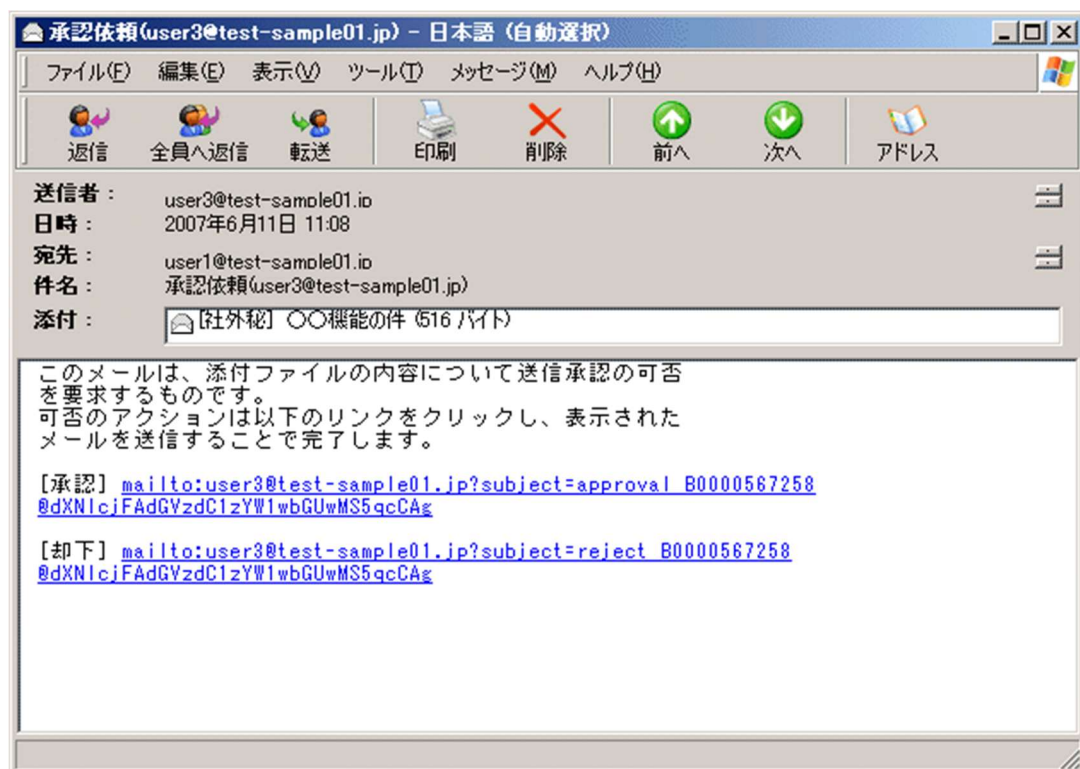
上長承認を行うユーザアカウントから、上長承認が必要なメールアドレスへ、メール送信します。



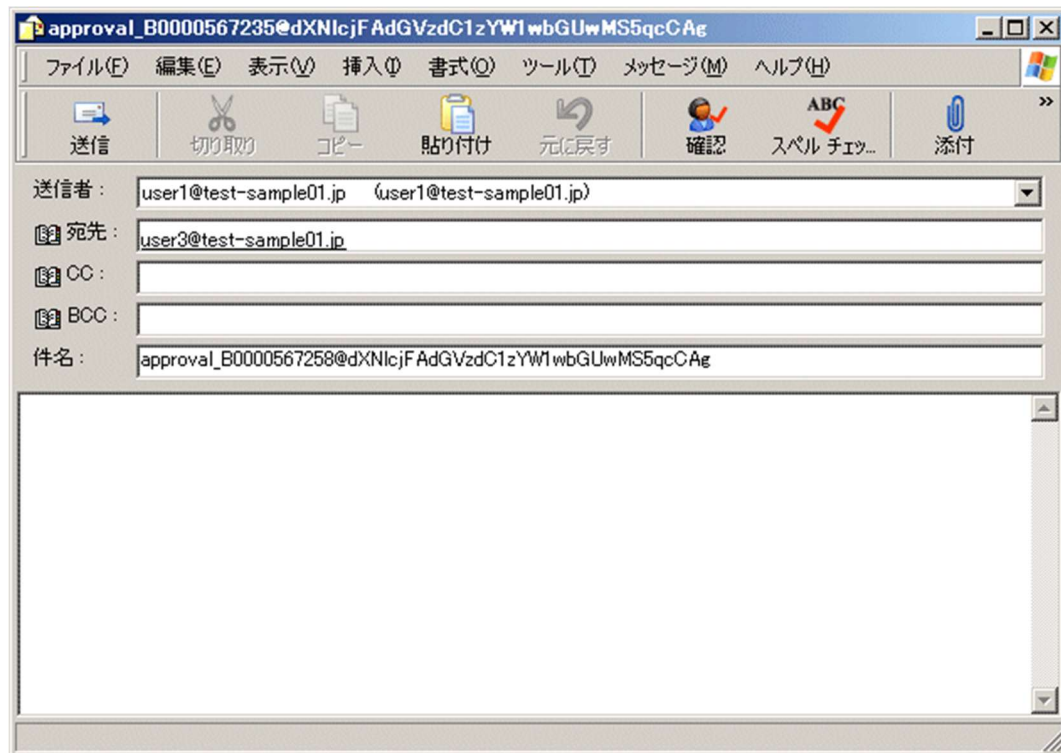
条件に一致した場合、上長宛に「承認依頼メール」が送信されます。



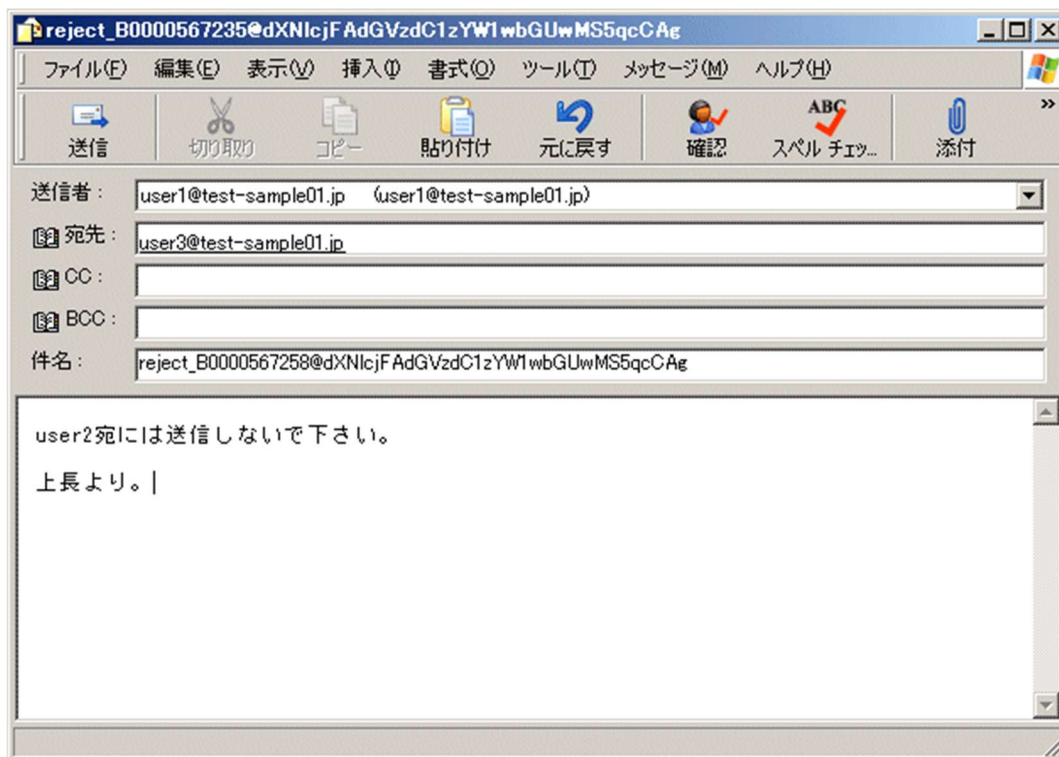
上長は、メールを参照し、承認・却下を決め、「承認依頼メール」に記載されたリンクをクリックします。
承認または、却下メールが作成されますので、作成されたメールを送信します。(却下の場合は、メールに却下理由を記載することも可能です。)



[承認]のリンクを選択した場合(承認)



[却下]のリンクを選択した場合(却下)

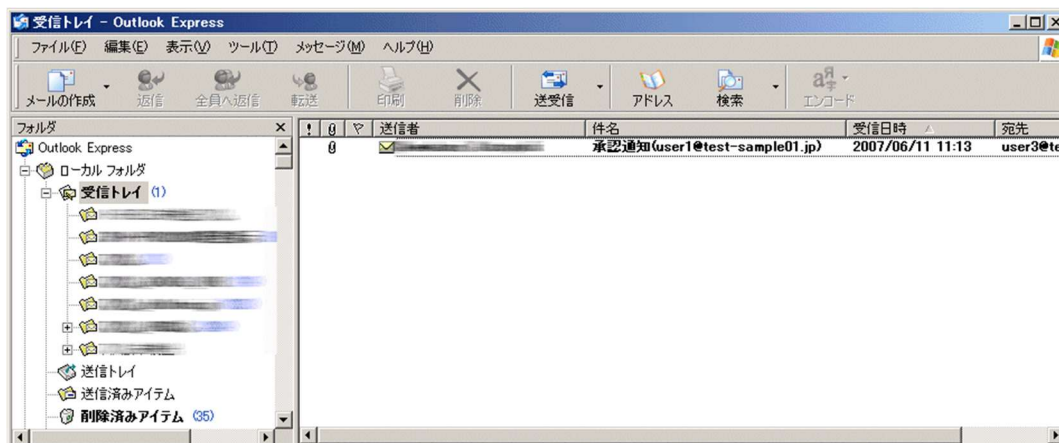


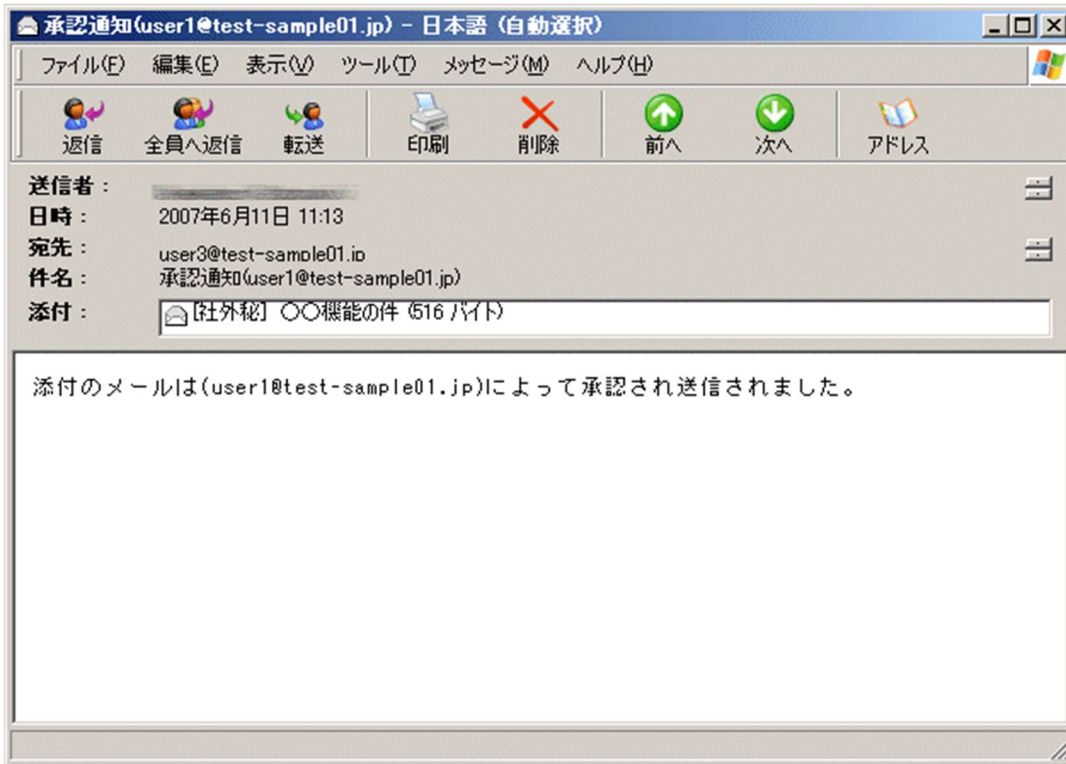
承認依頼者宛に、上長からの承認または、却下メールが送信されます。

また、承認された場合は、送信先にメールが送信され、却下された場合は、メールは破棄されます。

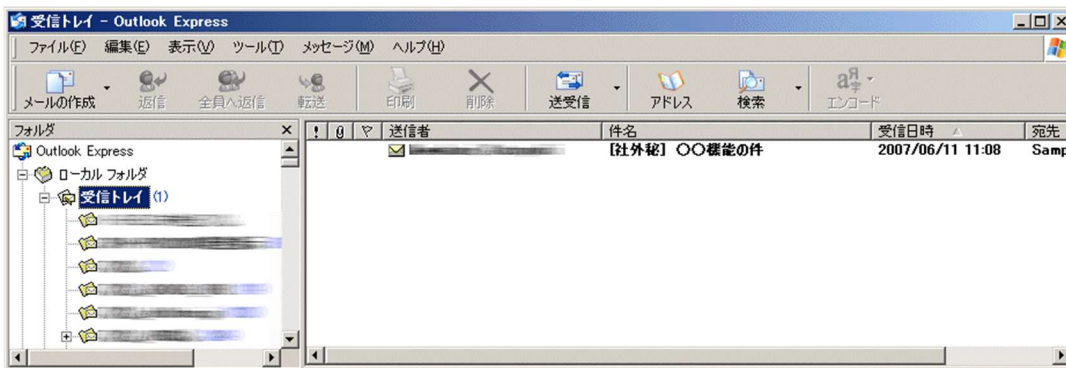
[承認された場合]

送信元への通知



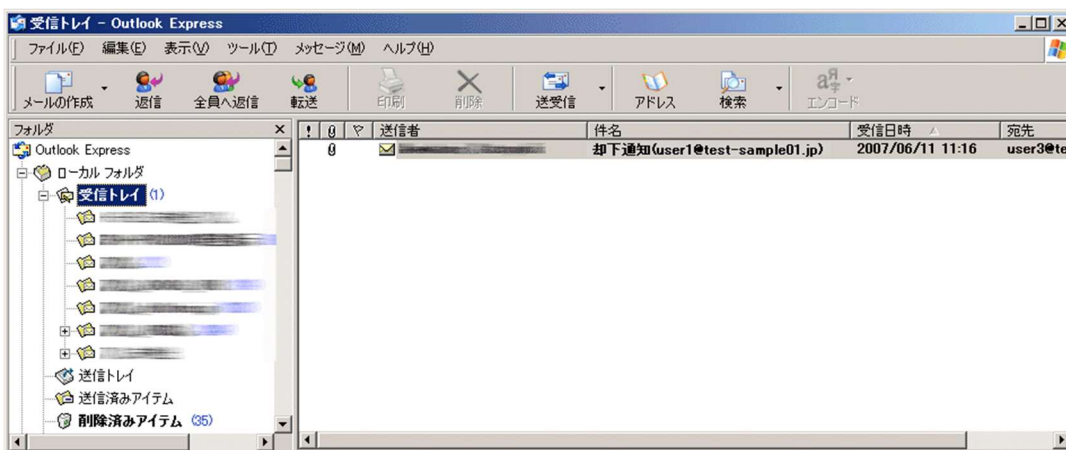


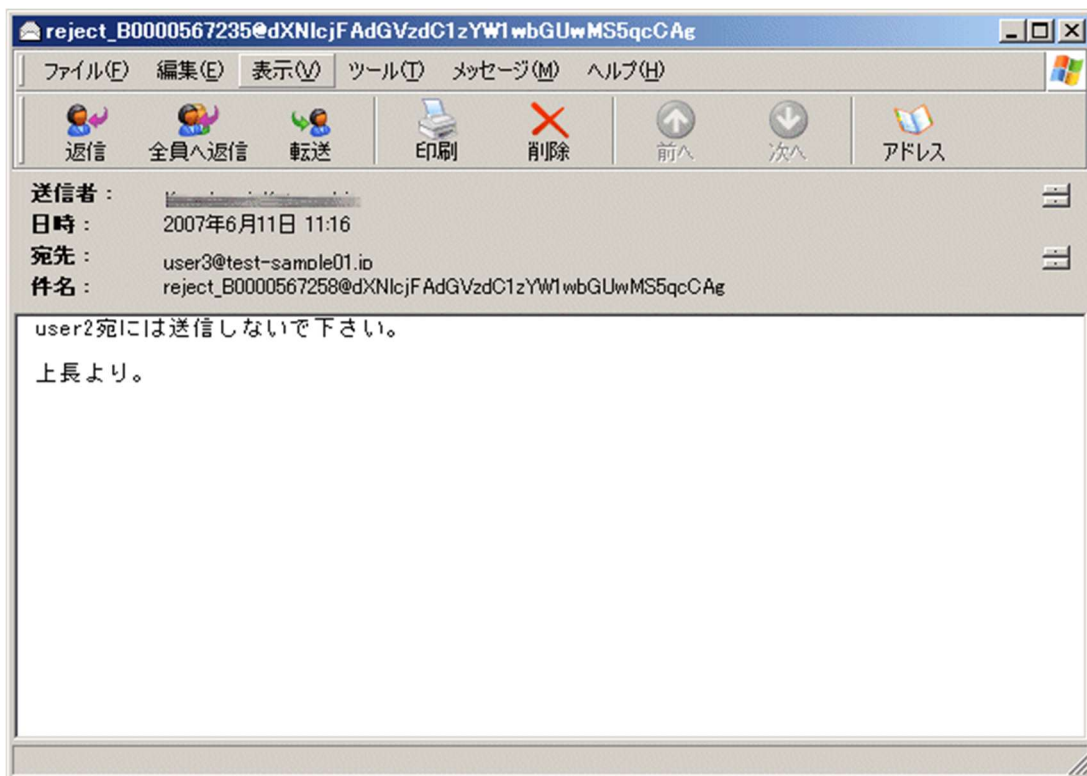
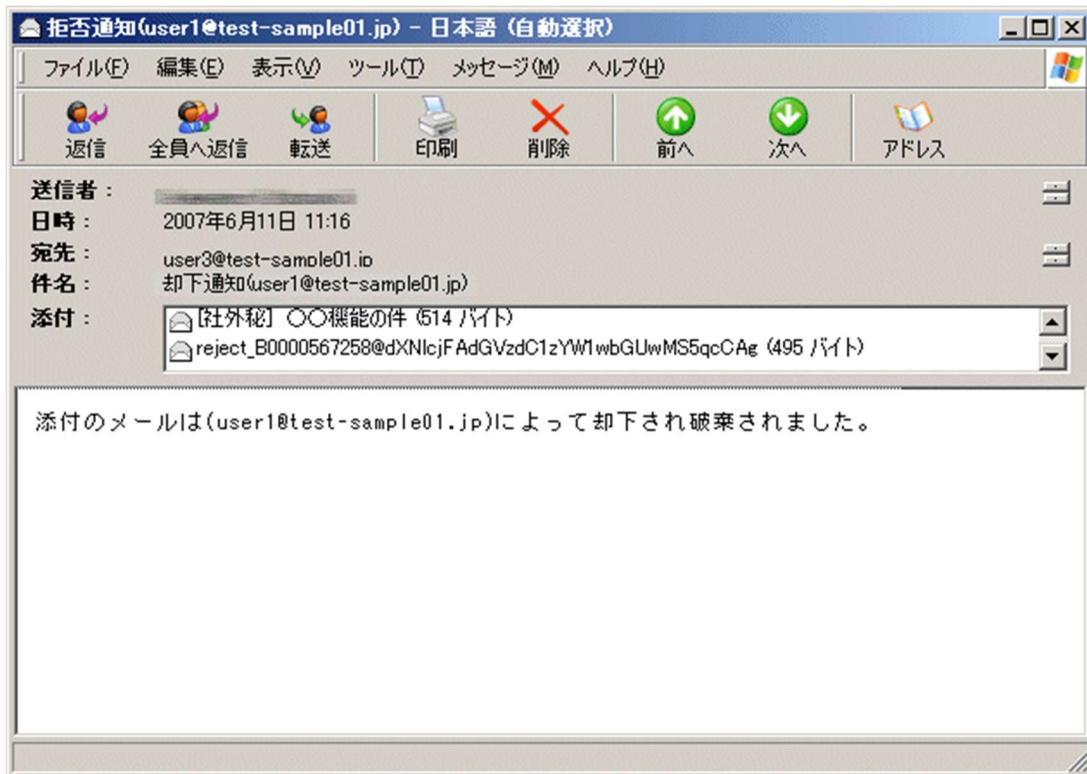
送信先へのメール送信



[却下された場合]

送信元への通知



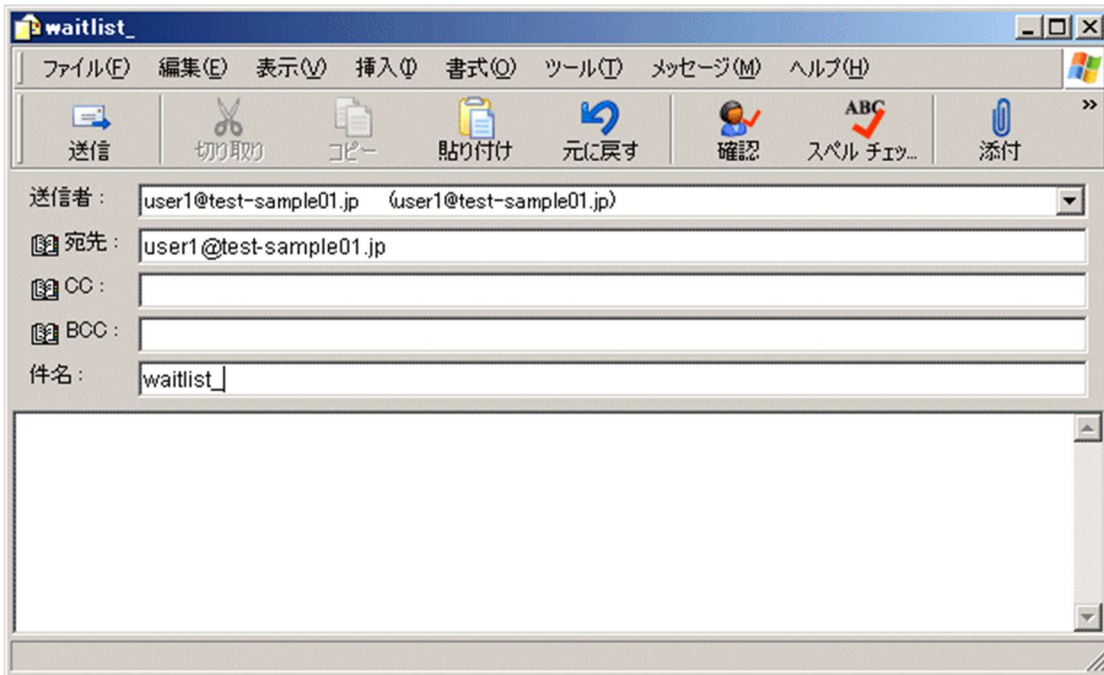


承認待ちメール一覧

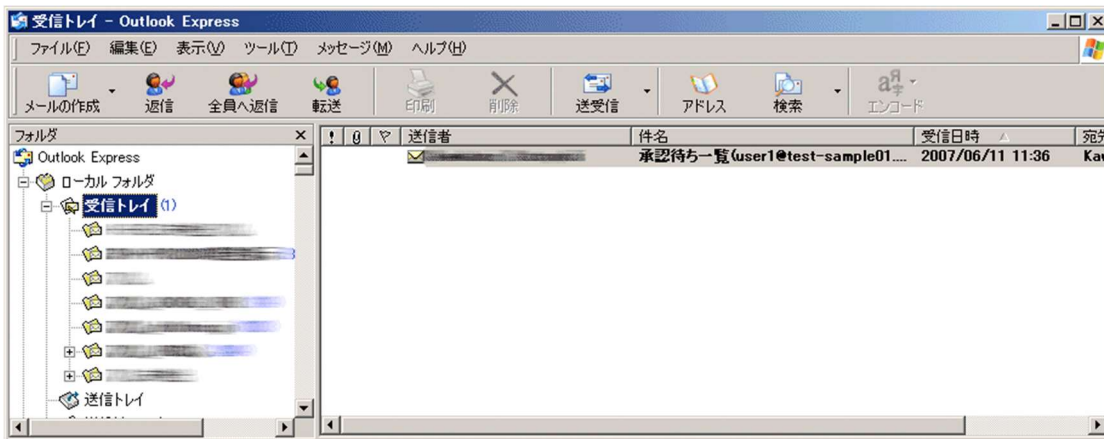
上長は、自身のメールアドレス宛に溜められている承認待ちメールの一覧を取得することができます。

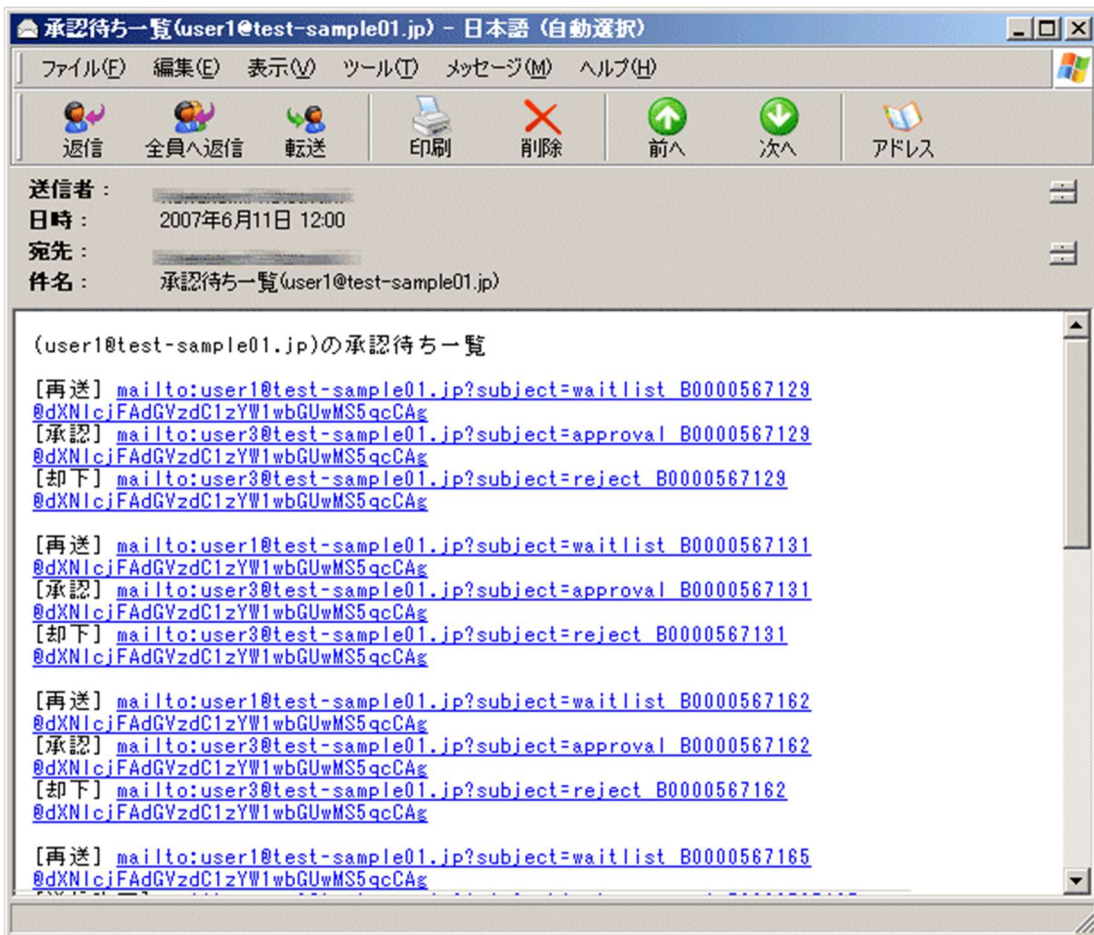
新規メールを作成しメール送信します。

(送信先は、自分宛とし、本文は記載せず、表題は、“waitlist_”とします。)



メールボックスからメールを受信すると、承認待ち一覧が送信されます。



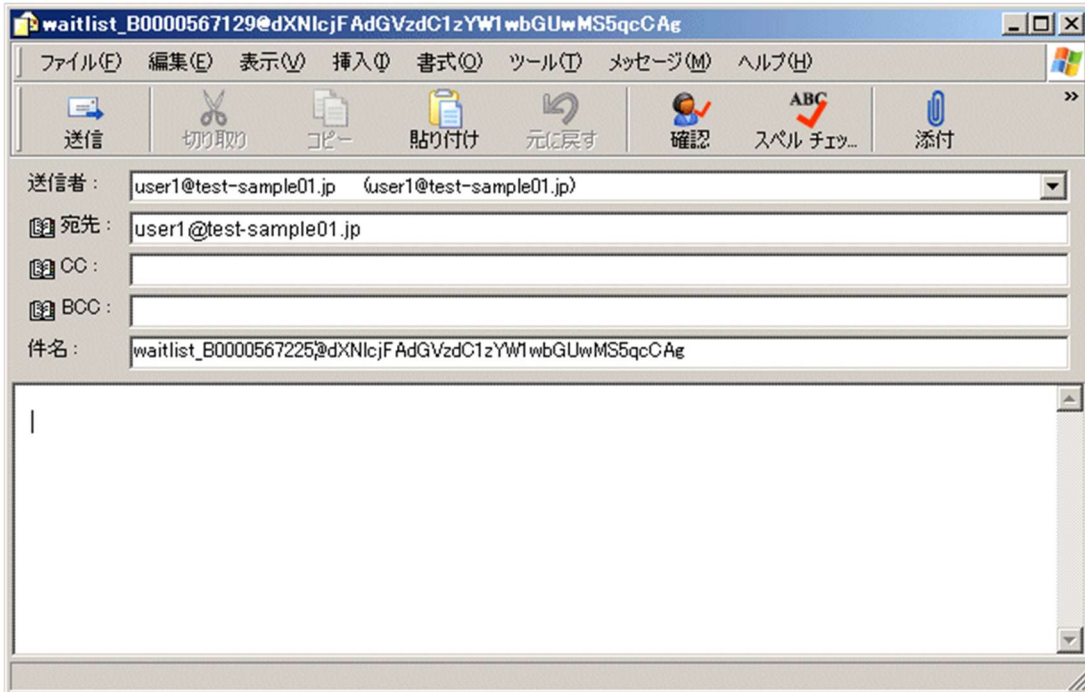


承認依頼メールの再取得

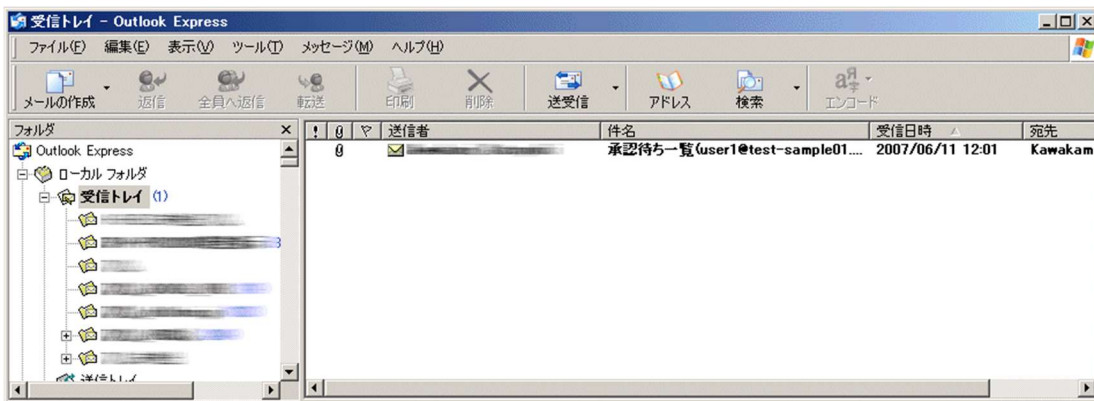
上長は、自身のメールアドレス宛に溜められている承認依頼メールの再取得を行うことができます。

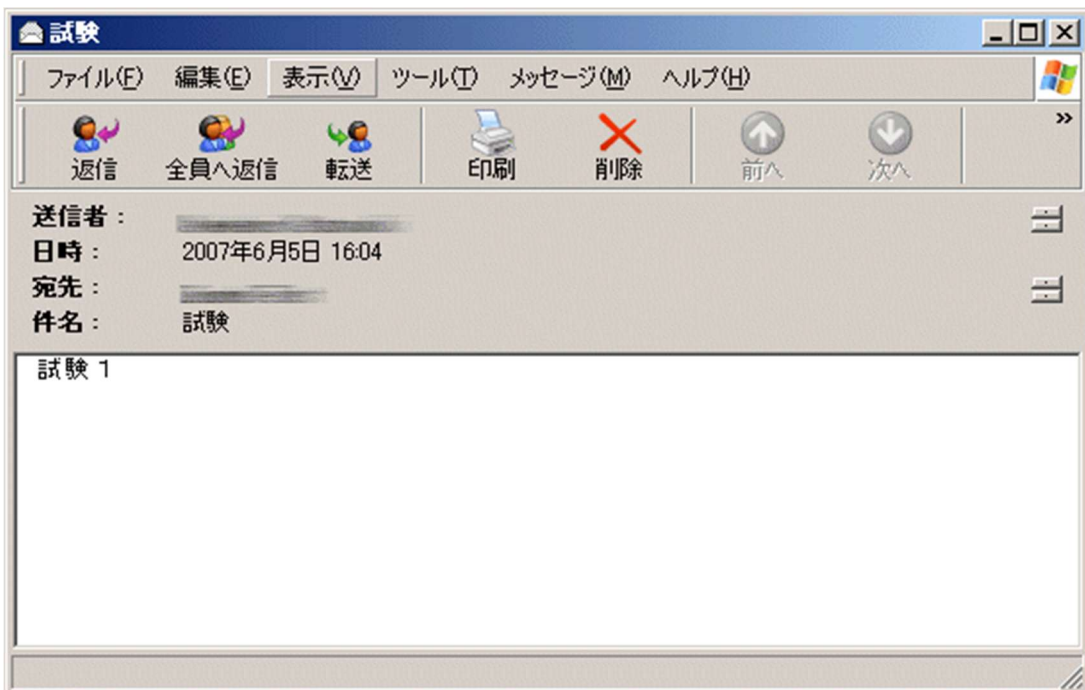
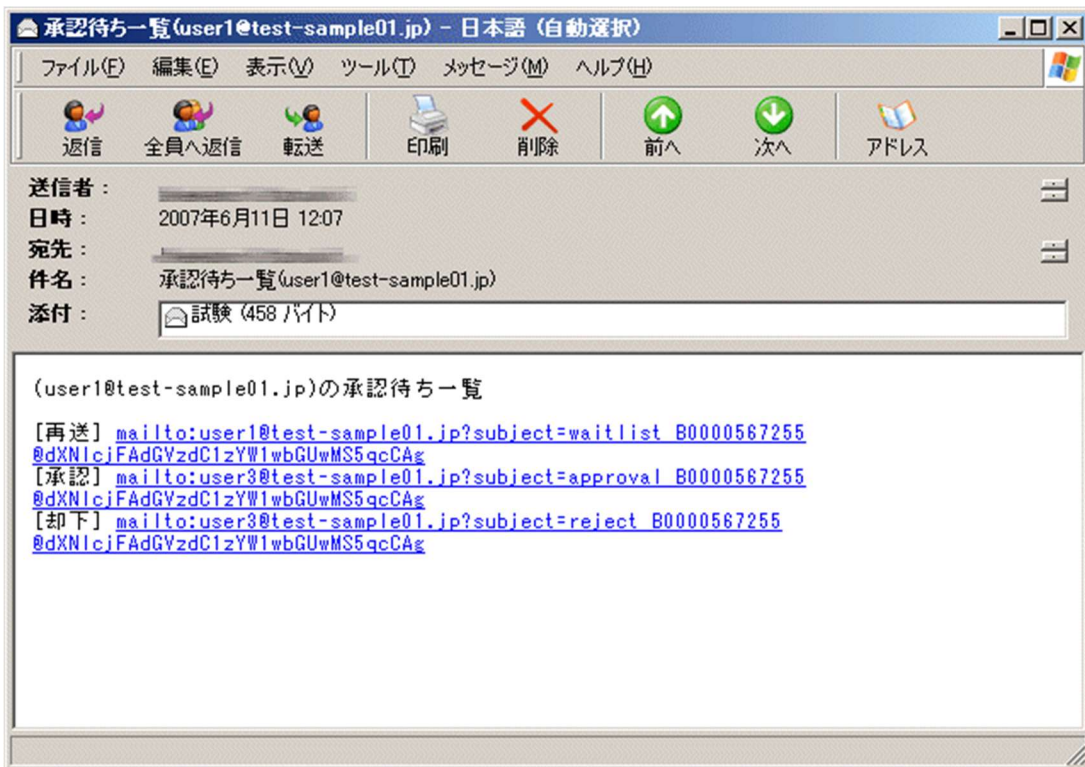
新規メールを作成しメール送信します。

(送信先は、自分宛とし、本文は記載せず、表題は、“waitlist_<対象メール><承認者アドレス(BASE64 でエンコードされたもの)>”とします。)



メールボックスからメールを受信すると、承認依頼メールが再取得されます。





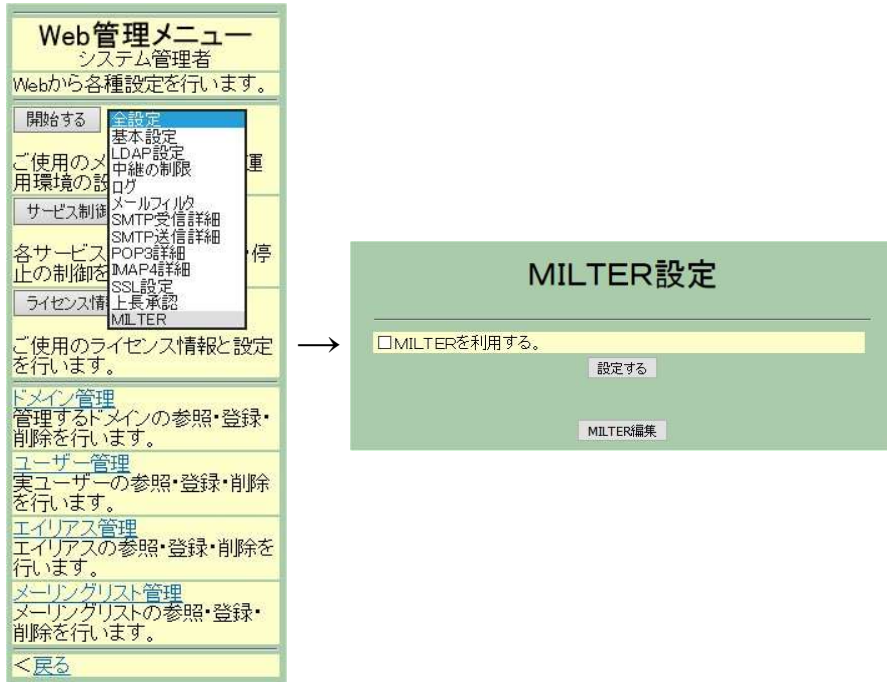
MILTER 機能

MILTER 機能を有効にするには、[Web 管理メニュー]から[MILTER]を選択し[開始する]ボタンをクリックします。

militerとは Mail Filter の略で、Sendmail 社が開発したメールフィルタプラグインの仕組みです。

militerを使うことにより、MTA 本体を変更せずに、迷惑メールフィルタやウイルスチェックなどの機能を MTA に組み込むことが可能になり、一度に複数の機能を組み合わせることで、より効果的なメールフィルタ機能を実現できます。

本設定を有効にすると、militer 互換インターフェースを利用できるようになります。



MILTER 編集

「MILTER 編集」ボタンを押すと、militer.ini ファイルの編集が行えます。militer.ini ファイルは MTA(E-Post Mail/Smtplib Server)側に接続させる、MILTER 対応のアプリケーションとのインターフェース(IP アドレス & ポート)を指定します。

複数のアプリケーションと接続する場合、1行毎に接続先を記載してください。

接続の順序は記載された先頭行から昇順に実施されます。



マクロ有効

「マクロ有効」がチェックされている場合、militer プロトコルでのやり取りの際、以下のマクロデータがメールフィルタ側へ出力されます。

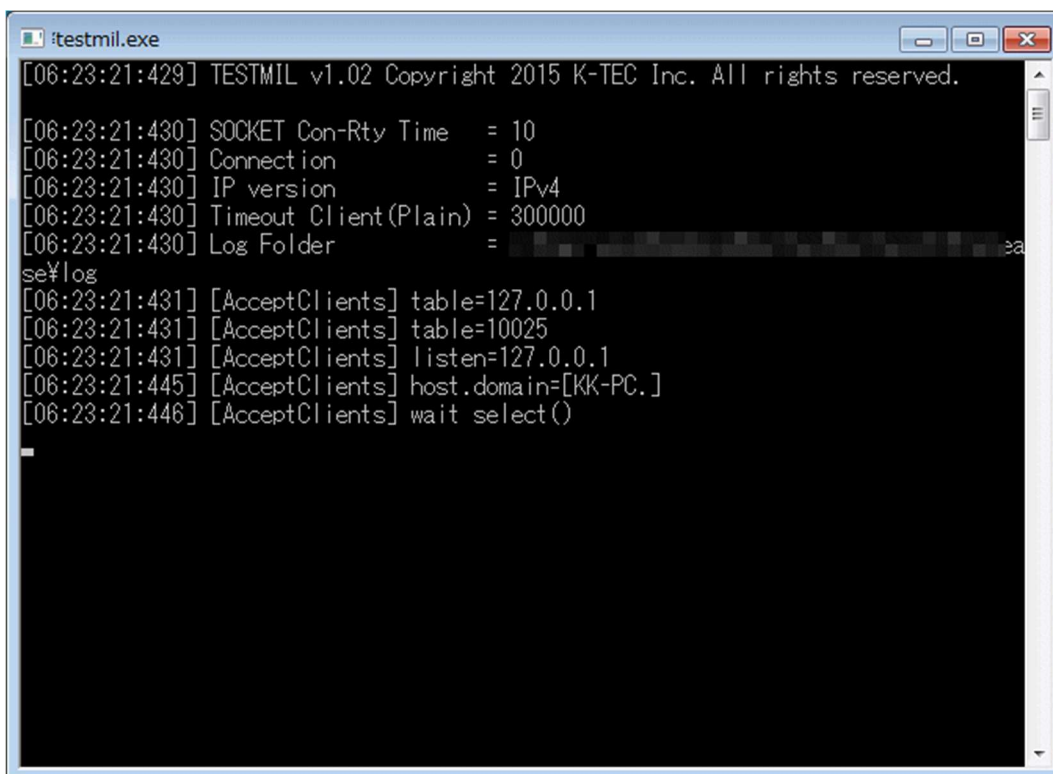
変数名称	利用可能位置	意味
i	EOM	現在のメッセージのキュー ID。 Messaging Server は、各セッションに対して固有の ID を生成します。 この ID は、i マクロで表示されます。
j	いつでも	Received: ヘッダフィールドの by 節で置換されるテキスト。
{client_addr}	いつでも	SMTP クライアントの IP アドレス。
{mail_addr}	MAIL FROM	現在のトランザクションの MAIL FROM アドレス。
{mail_host}	MAIL FROM	現在のトランザクションの MAIL FROM アドレスのホスト部分。
{rcpt_addr}	RCP TO	現在のトランザクションの RCPT TO アドレス。
{rcpt_host}	RCP TO	現在の RCPT TO アドレスのホスト部分。

※ 本設定を変更した場合は、EPSTRD を再起動する必要があります。

テストフィルタ(testmil)

「テストフィルタ(testmil)」に引数を設定し実行すると動作の確認が行えます。

「MILTER 設定ファイル」に定義されている接続先と一致している状態で「E-Post Mail/Smtп Server」宛にメール送信を行った時に、「テストフィルタ」が受け取った情報が順次表示されていきます。



```
!testmil.exe
[06:23:21:429] TESTMIL v1.02 Copyright 2015 K-TEC Inc. All rights reserved.
[06:23:21:430] SOCKET Con-Rty Time = 10
[06:23:21:430] Connection = 0
[06:23:21:430] IP version = IPv4
[06:23:21:430] Timeout Client(Plain) = 300000
[06:23:21:430] Log Folder = 
se¥log
[06:23:21:431] [AcceptClients] table=127.0.0.1
[06:23:21:431] [AcceptClients] table=10025
[06:23:21:431] [AcceptClients] listen=127.0.0.1
[06:23:21:445] [AcceptClients] host.domain=[KK-PC.]
[06:23:21:446] [AcceptClients] wait select()
```

testmil について

testmil は、E-POST 用 メールフィルタサンプルプログラムです。

本サンプルプログラムは、EPSTRD 側のリクエストにより送信された結果応答するだけのサンプルプログラムです。

実行方法

testmil<オプション>

オプション

※印は必須オプション。

- $\$$ =<スレッド作成エラー時の作成リトライを行う回数> デフォルト:10 回
- V or -v=メールフィルタ側のネゴシエーションデータの Ver 値 デフォルト:2
- A or -a=メールフィルタ側のネゴシエーションデータの Act 値 デフォルト:0
- S or -s=メールフィルタ側のネゴシエーションデータの Step 値 デフォルト:0
- E or -e=<設定値(応答タイプ)> 設定値の手順で擬似的にエラーとして応答させます。デフォルト:エラー無し

擬似エラー発生位置

設定値	擬似エラー発生位置
CONNECT<0-2>	M_CONNECT
HELO<0-2>	M_HELO
FROM<0-2>	M_FROM
TO<0-2>	M_RCPT
HEADER<0-2>	M_HEADER
EOH<0-2>	M_EOH
BODY<0-2>	M_BODY
EOM<0-2>	M_EOM

応答タイプ デフォルト=0 拒否

0:拒否 1:一時拒否 2:SMTP レスポンス設定

-M or -m=<タイプ>=<サーバへの出力文字列>

タイプ	サーバへの出力文字列
res	SMTP レスポンス(コード<SP>メッセージ)
from	差出人変更
toadd	宛先追加
toadd2	宛先追加 (パラメーター付き)
todel	宛先削除
hadd	ヘッダ追加 (末行に追加) 書式 “<Header: token>”
hins	指定位置のヘッダ行の次に追加 書式 “<n>:<Header: token>”
hmod	指定位置のヘッダ行と差替え 書式 “<n>:<Header: token>”
mmod	本文置換

※ 出力文字列には URL エンコードでの指定が可能です。(例)改行コード=%0D%0A)

-I or -i<アドレスファミリー 0:IPv4 Only 1:IPv6 Only 2:IPv4 or IPv6> デフォルト:0

-C or -c<lt;同時接続数> デフォルト:システム依存

※-L or -l<lt;リッスンアドレス:ポート>

-W or -w ログ書込み

-T or -t<lt;無通信タイムアウト時間> デフォルト:5分

-D or -d 動作の表示行わない。デフォルト:表示する。

実行例 1) 接続 IP=127.0.0.1,ポート 10025 で起動させる場合 (IPv4)

```
testmil -l=127.0.0.1:10025
```

実行例 2) 接続 IP= [240b:12:400:0:f028:4a9e:1d63:e0f],ポート 10025 で起動させる場合 (IPv6)

```
testmil -l= [240b:12:400:0:f028:4a9e:1d63:e0f]:10025 -i=1
```

実行例 3) 接続 IP=127.0.0.1,ポート 10025 で、ヘッダチェックで拒絶させる場合 (IPv4)

```
testmil -l=127.0.0.1:10025 -e=HEADER
```

実行例 4) 接続 IP=127.0.0.1,ポート 10025 で、本文チェックで拒絶させる場合 (IPv4)

```
testmil -l=127.0.0.1:10025 -e=BODY
```

サーバ側ログ

MILTER 機能有効時には、E-Post Mail/SmtP Server 側の **SMTP 受信詳細ログ(receivelog)**内に記録されます。

メールフィルタ動作時の記録例

[MLT_ACCESS]というタグ表記が行われている記録が、メールフィルタ側との通信記録です。

[MLT_ACCESS]に続く[M_NEGO]や、[M_MACRO+M_CONNECT]の箇所が、実際の通信コードを示しています。

通信コード表については、下欄の「**通信コード表**」を参照してください。

また、接続時に問題があった場合は、SOCKET_ERROR といった内容が記録されます。

通信コード表

サーバ側	
名称	意味
M_NEGO	ソケット接続ネゴシエーション
M_CONNECT	グリーティング時応答時
M_HELO	HELO/EHLO
M_FROM	MAIL FROM
M_TO	RCPT TO
M_DATA	DATA
M_HEADER	HEADER LINE
M_EOH	ヘッダ終了
M_BODY	BODY LINE
M_EOM	本文終了
M_DISCONN	ソケット切断
M_ABORT	中断
M_MACRO	マクロ

メールフィルタ側	
名称	意味
F_RCPTADD	宛先追加
F_RCPTDEL	宛先削除
F_RCPTADD2	パラメーター付きで宛先追加
F_OK	受理
F_DATAMOD	本文置換
F_NEXT	継続
F_DISCON	破棄
F_FROMREP	差出人変更
F_HEADADD	ヘッダ追加
F_HEADINS	ヘッダ挿入
F_HEADMOD	ヘッダ変更
F_EXECUTE	処理中
F_ISOLATE	隔離
F_REJECT	拒否
F_SKIP	スキップ
F_TEMP	一時拒否
F_RESPONSE	SMTP レスポンス設定

ログ例

```
[19/Feb/2015:06:27:28], 006127c0, [MLT_ACCESS] start
[19/Feb/2015:06:27:28], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_NEGO] send() end. len = 17
[19/Feb/2015:06:27:28], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_NEGO] rcv() end. len = 17
[19/Feb/2015:06:27:28], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_NEGO], end status = TRUE
[19/Feb/2015:06:27:28], 006127c0, [MLT_ACCESS] start
[19/Feb/2015:06:27:28], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_CONNECT] send() end. len = 77
[19/Feb/2015:06:27:28], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_CONNECT] rcv() end. len = 5
[19/Feb/2015:06:27:28], 006127c0, [MLT_ACCESS] [F_NEXT], end status = TRUE
[19/Feb/2015:06:27:28], 006127c0, 220 xxxxxx.test E-POST ESMTP Receiver (4.88) ....

[19/Feb/2015:06:27:31], 006127c0, helo test

[19/Feb/2015:06:27:31], 006127c0, [MLT_ACCESS] start
[19/Feb/2015:06:27:31], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_HELO] send() end. len = 62
[19/Feb/2015:06:27:31], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_HELO] rcv() end. len = 5
[19/Feb/2015:06:27:31], 006127c0, [MLT_ACCESS] [F_NEXT], end status = TRUE
[19/Feb/2015:06:27:31], 006127c0, 250 xxxxxx.test Hello [10.0.1.9], pleased to meet you
```

[19/Feb/2015:06:27:38], 006127c0, mail from: 00001@xxxxxx.test

[19/Feb/2015:06:27:38], 00000000, Check MAIL FROM address = 00001@xxxxxx.test

:

[19/Feb/2015:06:27:38], 006127c0, [MLT_ACCESS] start

[19/Feb/2015:06:27:38], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_FROM] send() end. len = 99

[19/Feb/2015:06:27:38], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_FROM] rcv() end. len = 5

[19/Feb/2015:06:27:38], 006127c0, [MLT_ACCESS] [F_NEXT], end status = TRUE

[19/Feb/2015:06:27:38], 006127c0, 250 2.0.0 <00001@xxxxxx.test>... Sender ok.

[19/Feb/2015:06:27:44], 006127c0, rcpt to: 00001@xxxxxx.test

[19/Feb/2015:06:27:44], 00000000, Check RCPT TO address = 00001@xxxxxx.test

:

[19/Feb/2015:06:27:44], 006127c0, [MLT_ACCESS] start

[19/Feb/2015:06:27:44], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_RCPT] send() end. len = 99

[19/Feb/2015:06:27:44], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_RCPT] rcv() end. len = 5

[19/Feb/2015:06:27:44], 006127c0, [MLT_ACCESS] [F_NEXT], end status = TRUE

[19/Feb/2015:06:27:44], 006127c0, 250 2.0.0 <00001@xxxxxx.test>... Recipient ok.

:

[19/Feb/2015:06:27:53], 006127c0, 354 Start mail input;id end with .

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] start

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_DATA] send() end. len = 5

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_DATA] rcv() end. len = 5

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [F_NEXT], end status = TRUE

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] start

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_HEADER] send() end. len = 208

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_HEADER] rcv() end. len = 5

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [F_NEXT], end status = TRUE

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] start

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_HEADER] send() end. len = 18

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_HEADER] rcv() end. len = 5

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [F_NEXT], end status = TRUE

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] start

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_EOH] send() end. len = 5

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_EOH] rcv() end. len = 5

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [F_NEXT], end status = TRUE

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] start

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_BODY] send() end. len = 12

[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_BODY] recv() end. len = 5
[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [F_NEXT], end status = TRUE
[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] start
[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_EOM] send() end. len = 48
[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_EOM] recv() end. len = 5
[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, [MLT_ACCESS] [F_OK], end status = TRUE
:
[19/Feb/2015:06:27:58], 006127c0, 250 2.0.0 Message received ok.
[19/Feb/2015:06:28:00], 006127c0, quit
[19/Feb/2015:06:28:00], 006127c0, 221 2.0.0 xxxxxx.test closing connection.

[19/Feb/2015:06:44:29], 006127c0, [MLT_ACCESS] start
[19/Feb/2015:06:44:29], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_NEGO] send() end. len = 17
[19/Feb/2015:06:44:39], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_NEGO] recv() end. len = 17
[19/Feb/2015:06:44:39], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_NEGO], end status = TRUE
[19/Feb/2015:06:44:39], 006127c0, [MLT_ACCESS] start
[19/Feb/2015:06:44:39], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_CONNECT] send() end. len = 77
[19/Feb/2015:06:44:41], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_CONNECT] recv() end. len = 5
[19/Feb/2015:06:44:41], 006127c0, [MLT_ACCESS] [F_NEXT], end status = TRUE
[19/Feb/2015:06:44:41], 006127c0, 220 xxxxxx.test E-POST ESMTP Receiver (4.88)

※以下は接続異常があった場合の記録

[19/Feb/2015:06:44:45], 006127c0, helo test

[19/Feb/2015:06:44:45], 006127c0, [MLT_ACCESS] start
[19/Feb/2015:06:44:45], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_HELO] send() end. len = 62
[19/Feb/2015:06:46:46], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_HELO] recv() end. len = -1
[19/Feb/2015:06:46:46], 006127c0, [MLT_ACCESS] [M_MACRO+M_HELO] recv() get_reply() SOCKET_ERROR
OTHER CODE=XXXXXXXX
[19/Feb/2015:06:46:46], 006127c0, [MLT_ACCESS] [F_UNKOWN], end status = TRUE
[19/Feb/2015:06:46:46], 006127c0, 250 xxxxxx.test Hello [xx.xx.xx.xx], pleased to meet you

:

発売元 **株式会社 イー・ポスト**

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場1-33-14 サンフラワービル

TEL. 03-5272-5386 FAX 03-5286-2610